

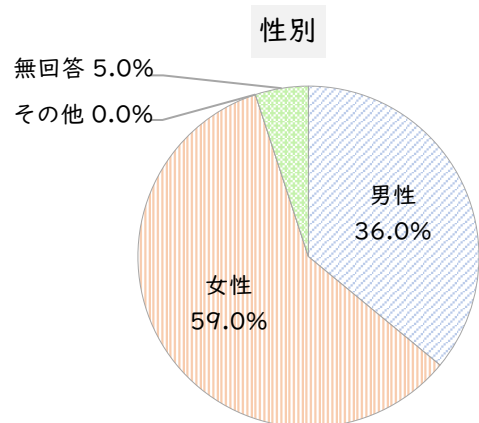
令和6年度 男女共同参画に関する住民意識調査 結果

- ・調査対象…村内に在住する18歳以上の男女
- ・対象人数…500人（男性・女性 各250人 ※各年代の男女 各50人）
- ・抽出方法…村内在住者から無作為抽出（世帯内の重複は避ける）
- ・調査方法…各個人宛ての書面による郵送調査（回答方法は郵送またはオンライン）
- ・調査時期…令和6年7月
- ・回収数…139人（回収率27.8%）
- ・集計方法…表では全回答者数139人を母数とし、性別毎、年代毎のグラフでは、それぞれの回答者数を母数として割合を計算。（いずれも小数点以下第2位を四捨五入）

《回答者自身について》

●性別

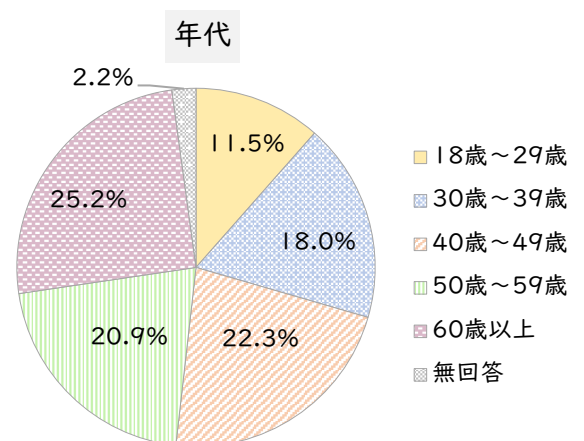
	回答者数	割合
男性	50人	36.0%
女性	82人	59.0%
その他	0人	0.0%
無回答	7人	5.0%
合計	139人	100.0%



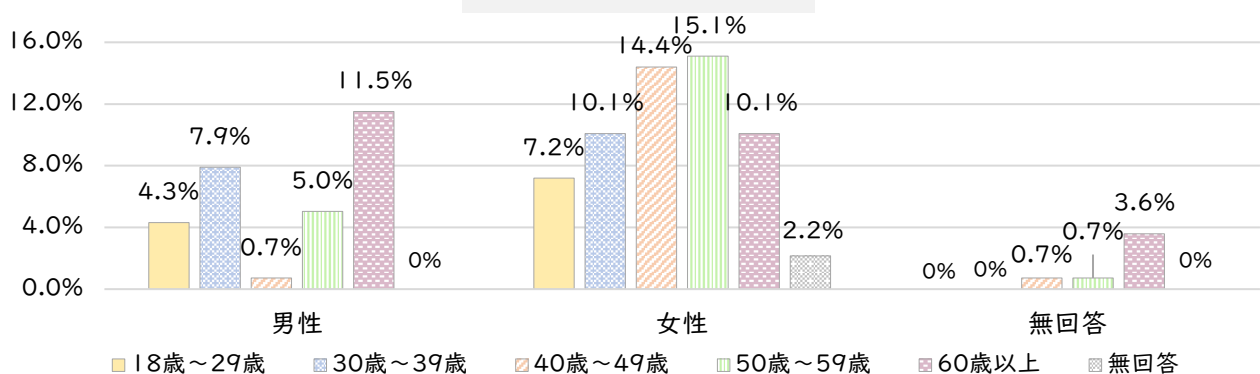
※「その他」に該当する方は0人だったため、以降の項目では省略

●年代

	回答者数	割合
18歳～29歳	16人	11.5%
30歳～39歳	25人	18.0%
40歳～49歳	31人	22.3%
50歳～59歳	29人	20.9%
60歳以上	35人	25.2%
無回答	3人	2.2%
合計	139人	100.0%



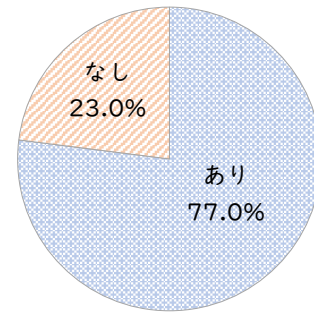
回答者自身について



●結婚の経験(事実婚含む)

	回答者数	割合
あり	107 人	77.0%
なし	32 人	23.0%
合計	139 人	100.0%

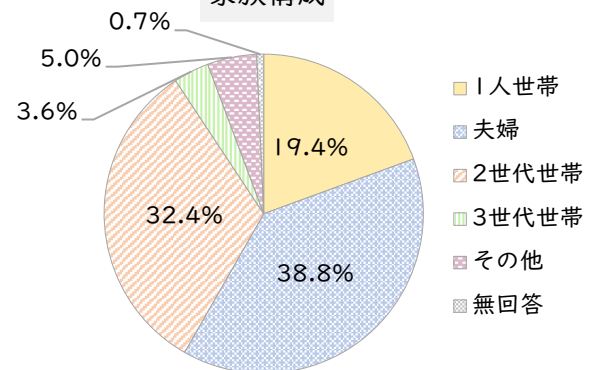
結婚の経験



●家族構成

	回答者数	割合
1人世帯	27 人	19.4%
夫婦	54 人	38.8%
2世代世帯	45 人	32.4%
3世代世帯	5 人	3.6%
その他	7 人	5.0%
無回答	1 人	0.7%
合計	139 人	100.0%

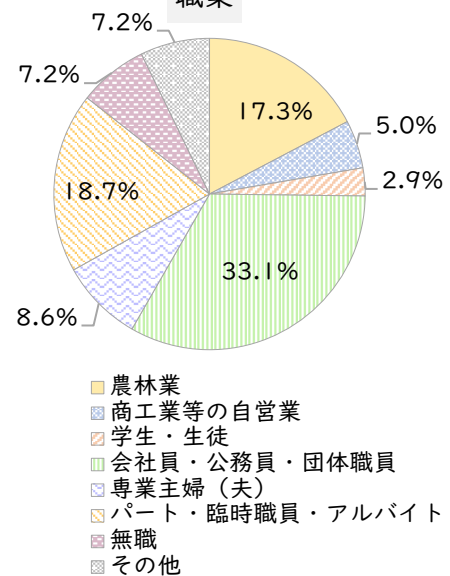
家族構成



●職業

	回答者数	割合
農林業	24 人	17.3%
商工業等の自営業	7 人	5.0%
学生・生徒	4 人	2.9%
会社員・公務員・団体職員	46 人	33.1%
専業主婦(夫)	12 人	8.6%
パート・臨時職員・アルバイト	26 人	18.7%
無職	10 人	7.2%
その他	10 人	7.2%
合計	139 人	100.0%

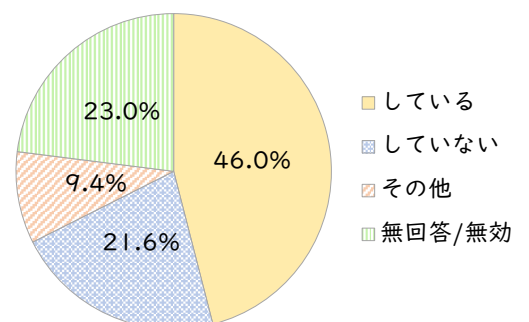
職業



●共働き ※既婚者のみ回答(事実婚含む)

	回答者数	割合
している	64 人	46.0%
していない	30 人	21.6%
その他(定年等により、ともに働いていない場合等)	13 人	9.4%
無回答/無効	32 人	23.0%
合計	139 人	100.0%

共働き



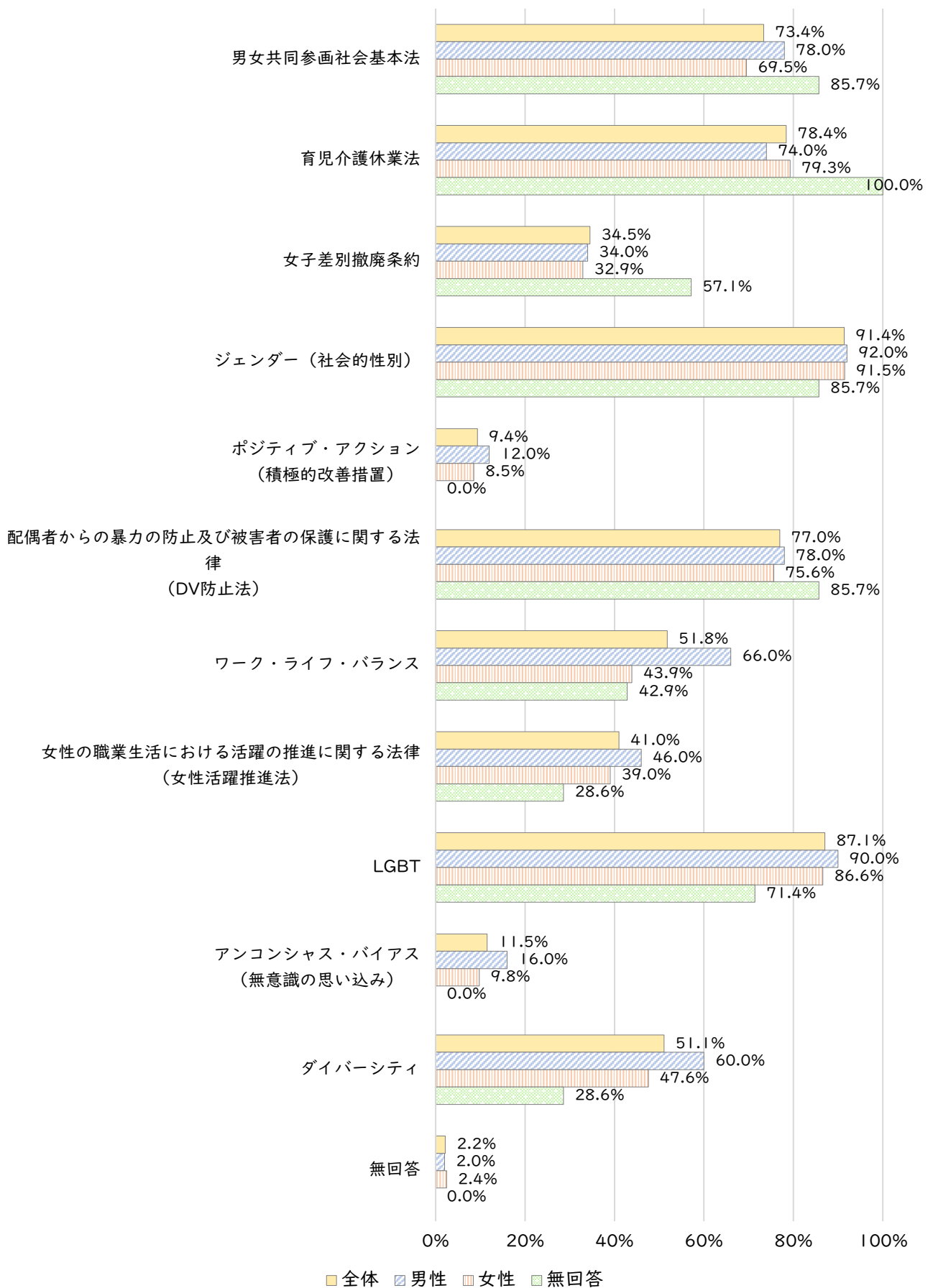
《男女平等意識について》

問1 次の言葉のうち、見たり聞いたりしたことがある言葉を選んでください。

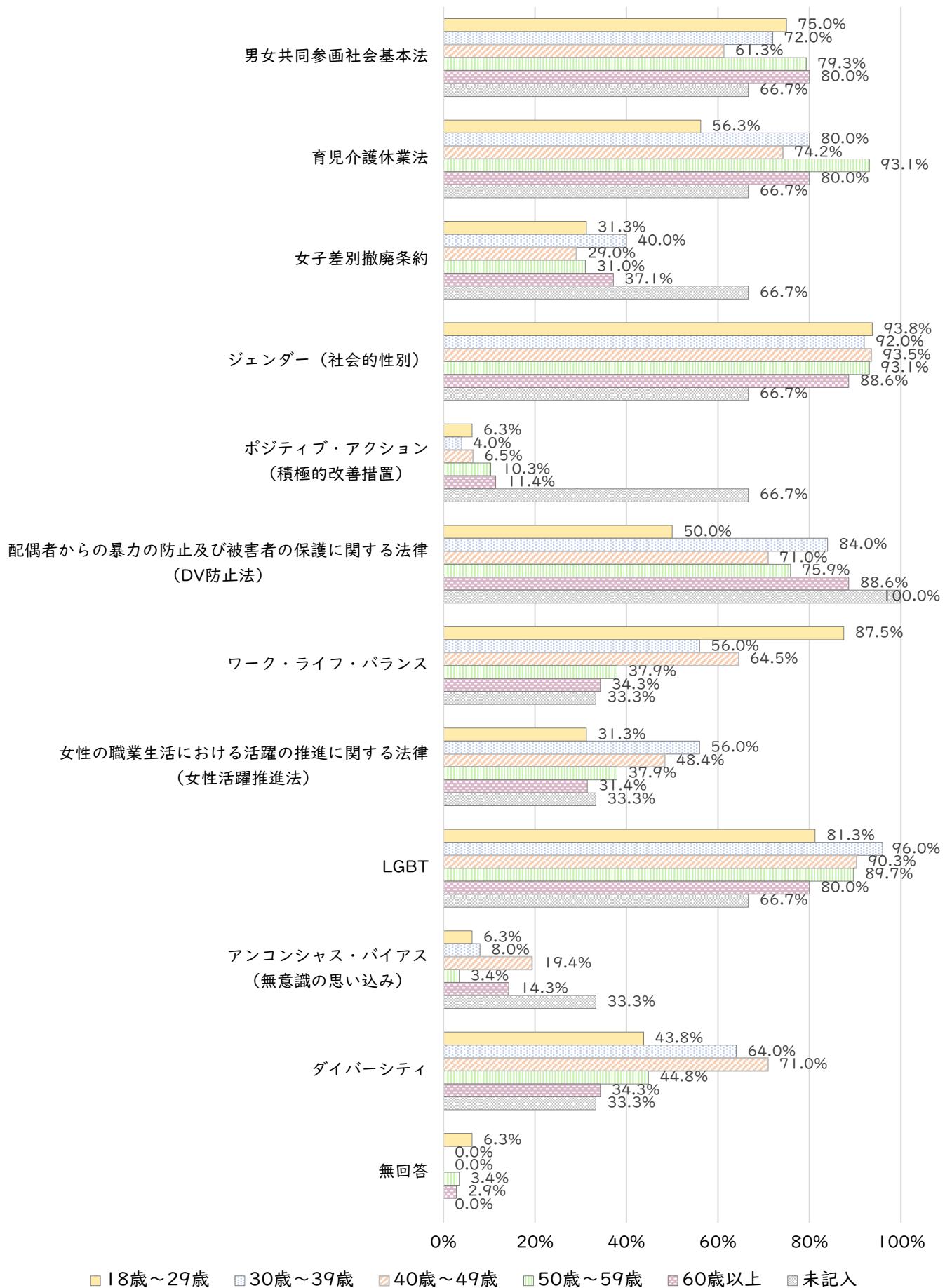
(複数選択可)

	回答者数	割合
男女共同参画社会基本法	102 人	73.4%
育児介護休業法	109 人	78.4%
女子差別撤廃条約	48 人	34.5%
ジェンダー (社会的性別)	127 人	91.4%
ポジティブ・アクション (積極的改善措置)	13 人	9.4%
配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律 (DV 防止法)	107 人	77.0%
ワーク・ライフ・バランス	72 人	51.8%
女性の職業生活における活躍の推進に関する法律 (女性活躍推進法)	57 人	41.0%
LGBT	121 人	87.1%
アンコンシャス・バイアス (無意識の思い込み)	16 人	11.5%
ダイバーシティ	71 人	51.1%
無回答	3 人	2.2%

見たり聞いたりしたことがある言葉（性別毎）



見たり聞いたりしたことがある言葉（年代毎）

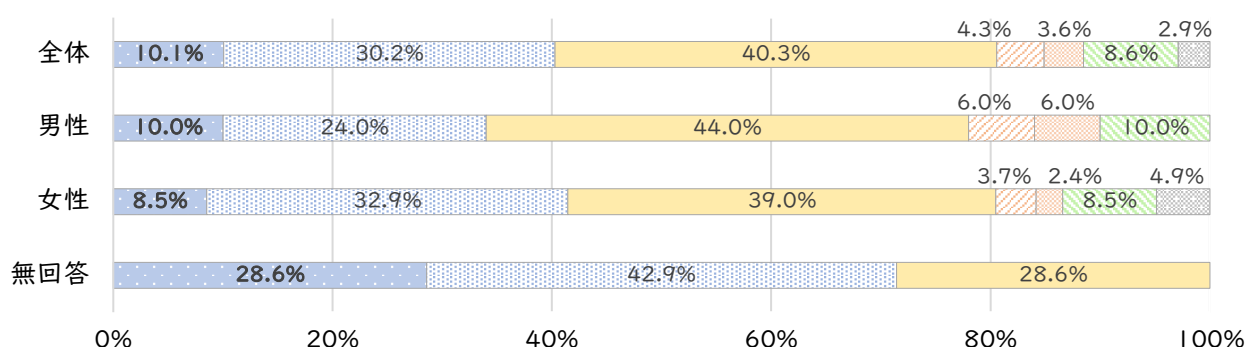


問2 次の身近な項目（ア～エ）について、男女平等だと思いますか。

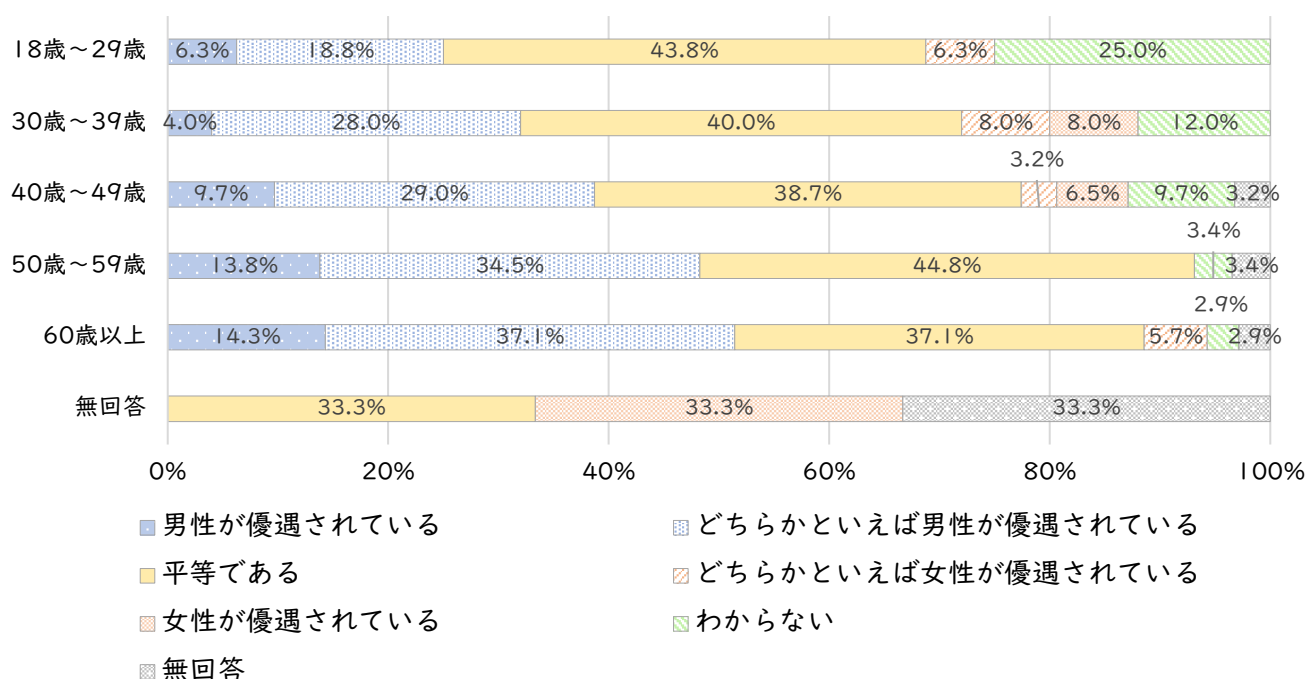
問2-ア「家庭生活」の中で男女平等だと思いますか

	回答者数	割合
男性が優遇されている	14 人	10.1%
どちらかといえば男性が優遇されている	42 人	30.2%
平等である	56 人	40.3%
どちらかといえば女性が優遇されている	6 人	4.3%
女性が優遇されている	5 人	3.6%
わからない	12 人	8.6%
無回答	4 人	2.9%
合計	139 人	100.0%

「家庭生活」の中で男女平等か（性別毎）



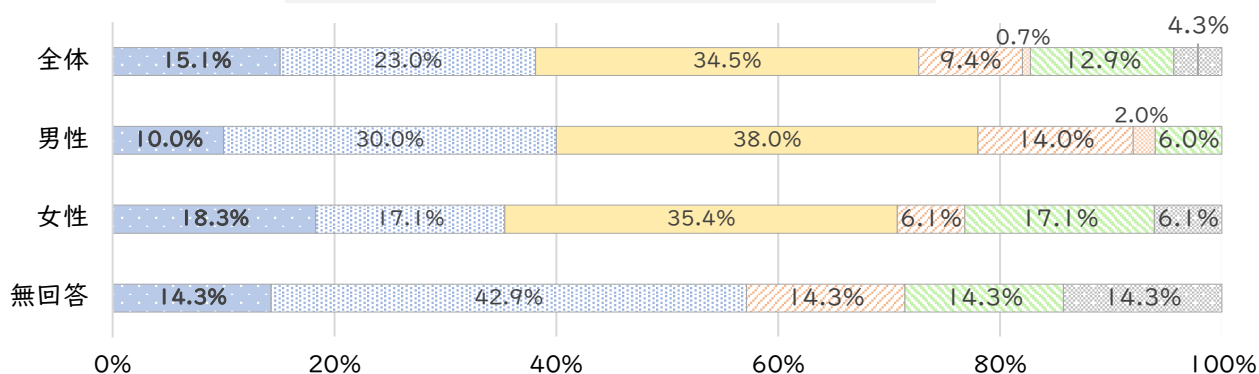
「家庭生活」の中で男女平等か（年代毎）



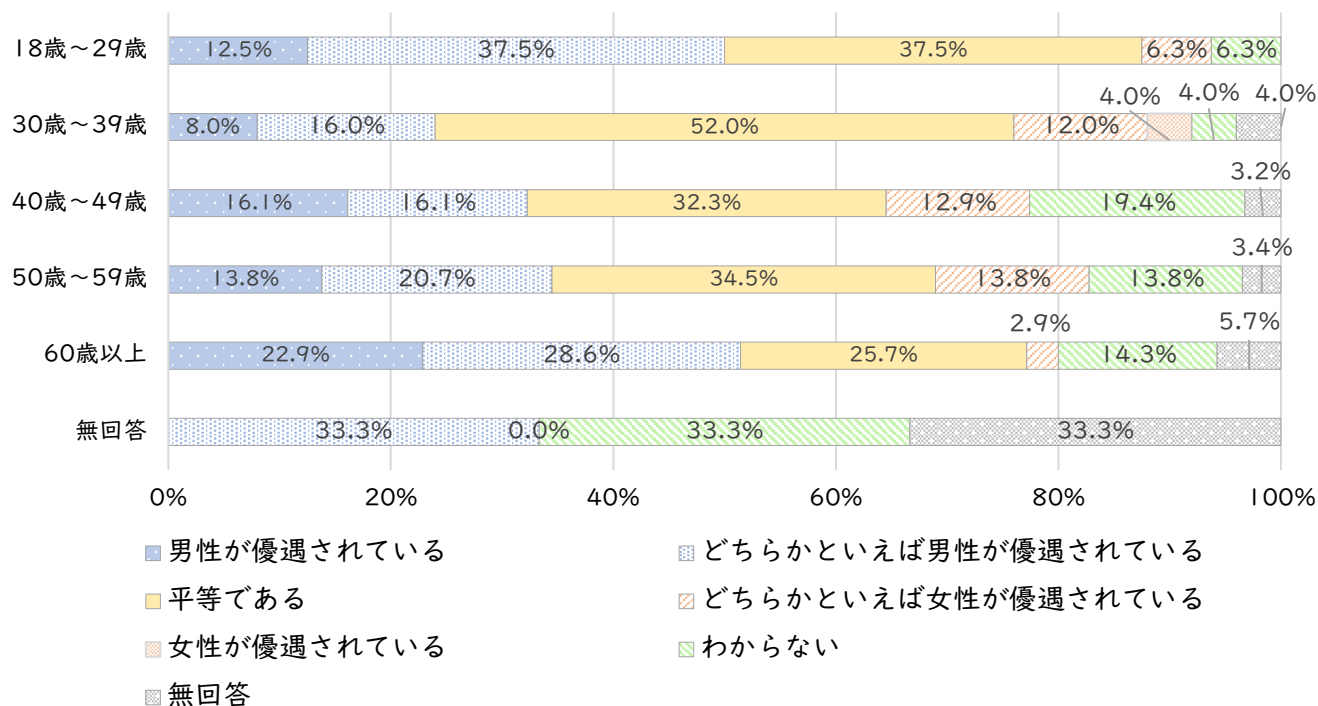
問2-イ「職場」の中で男女平等だと思いますか

	回答者数	割合
男性が優遇されている	21 人	15.1%
どちらかといえば男性が優遇されている	32 人	23.0%
平等である	48 人	34.5%
どちらかといえば女性が優遇されている	13 人	9.4%
女性が優遇されている	1 人	0.7%
わからない	18 人	12.9%
無回答	6 人	4.3%
合計	139 人	100.0%

「職場」の中で男女平等か（性別毎）

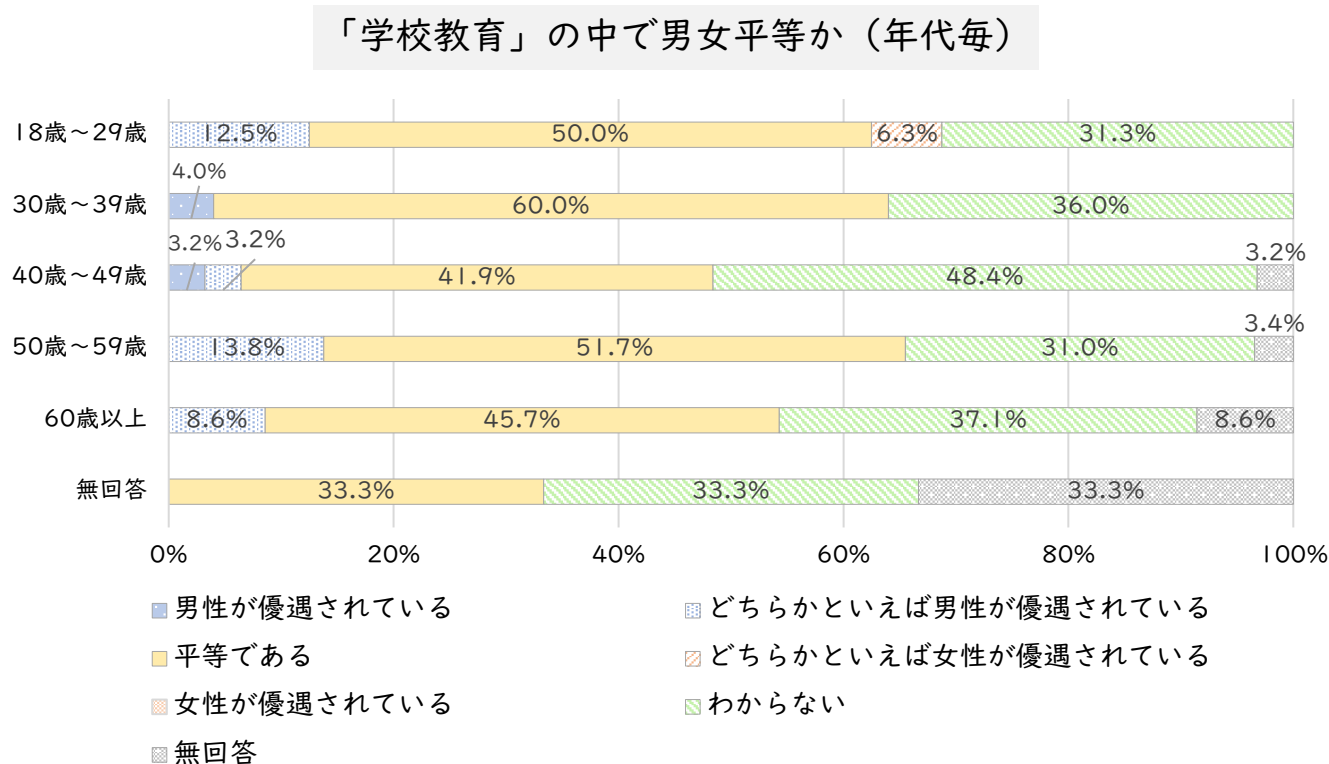
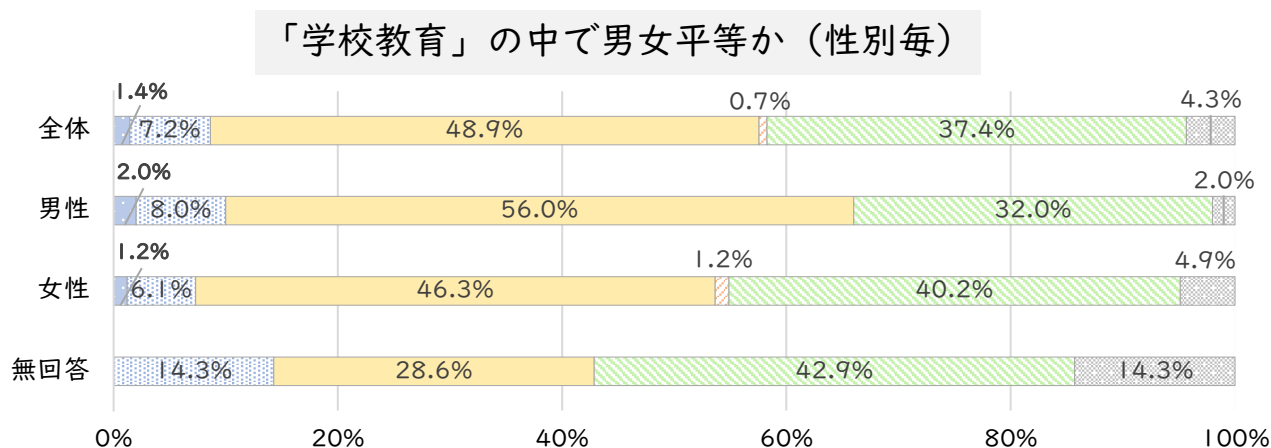


「職場」の中で男女平等か（年代毎）



問2-ウ「学校教育」の場で男女平等だと思いますか

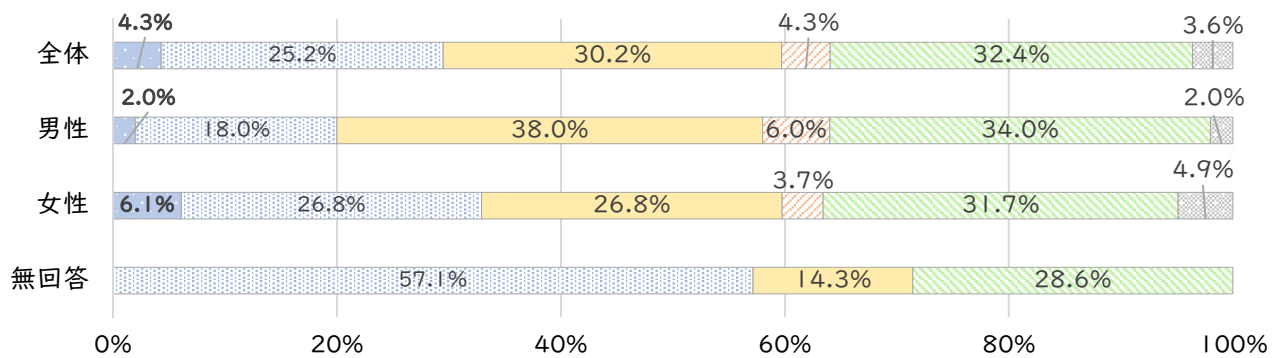
	回答者数	割合
男性が優遇されている	2 人	1.4%
どちらかといえば男性が優遇されている	10 人	7.2%
平等である	68 人	48.9%
どちらかといえば女性が優遇されている	1 人	0.7%
女性が優遇されている	0 人	0.0%
わからない	52 人	37.4%
無回答	6 人	4.3%
合計	139 人	100.0%



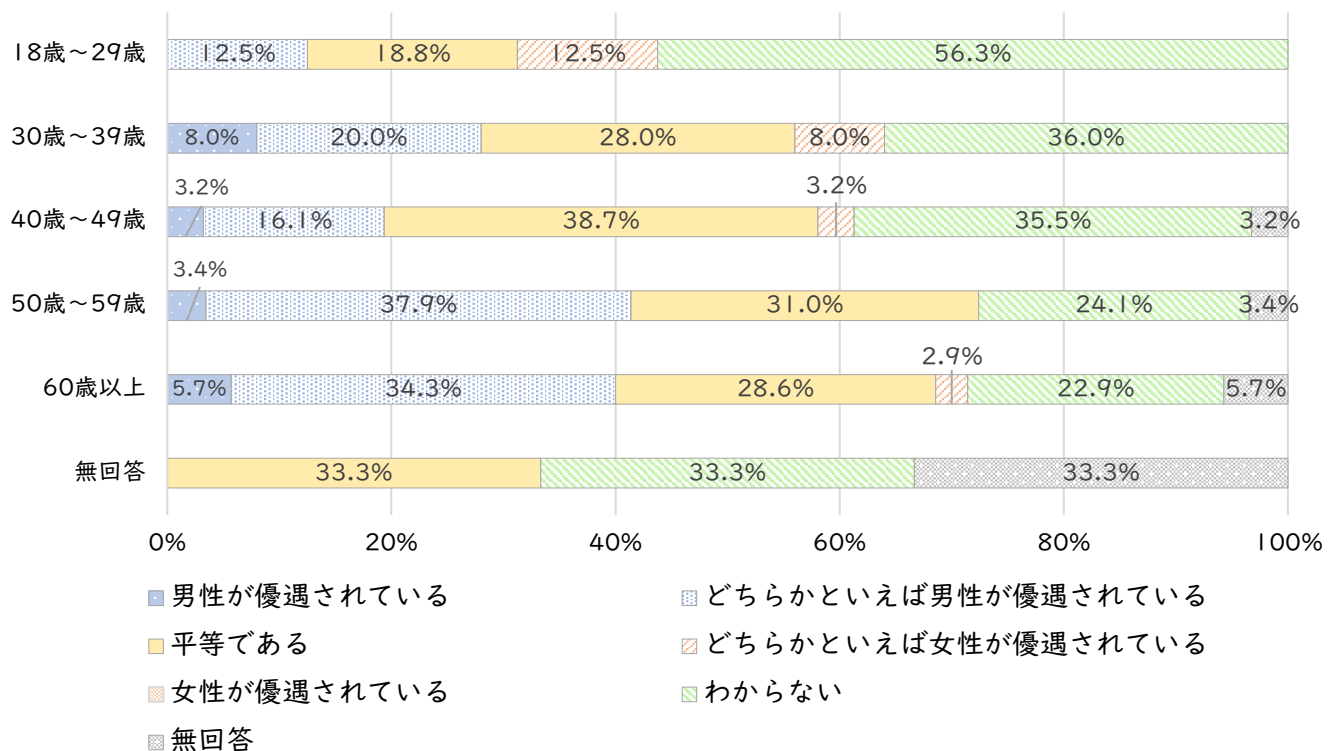
問2-エ 「地域活動」の中で男女平等だと思いますか

	回答者数	割合
男性が優遇されている	6 人	4.3%
どちらかといえば男性が優遇されている	35 人	25.2%
平等である	42 人	30.2%
どちらかといえば女性が優遇されている	6 人	4.3%
女性が優遇されている	0 人	0.0%
わからない	45 人	32.4%
無回答	5 人	3.6%
合計	139 人	100.0%

「地域活動」の中で男女平等か（性別毎）



「地域活動」の中で男女平等か（年代毎）

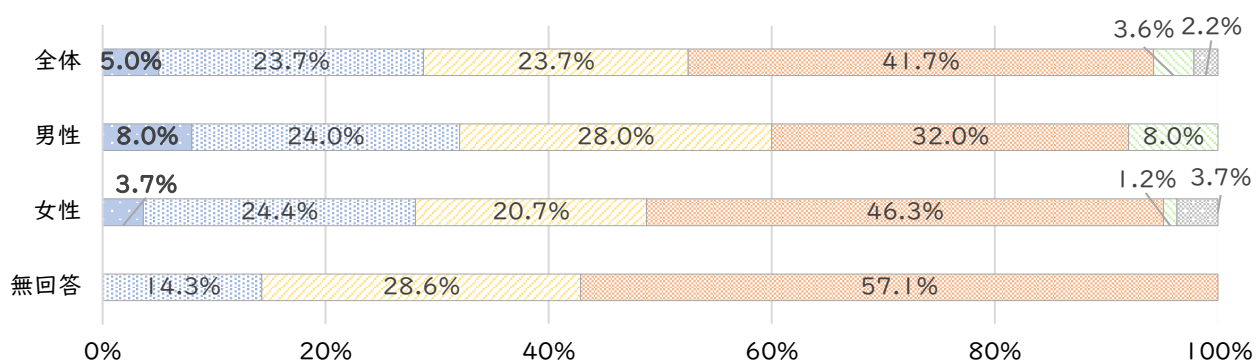


問3 次の項目（ア～ウ）について、自分の考えに一番近いものを選んでください。

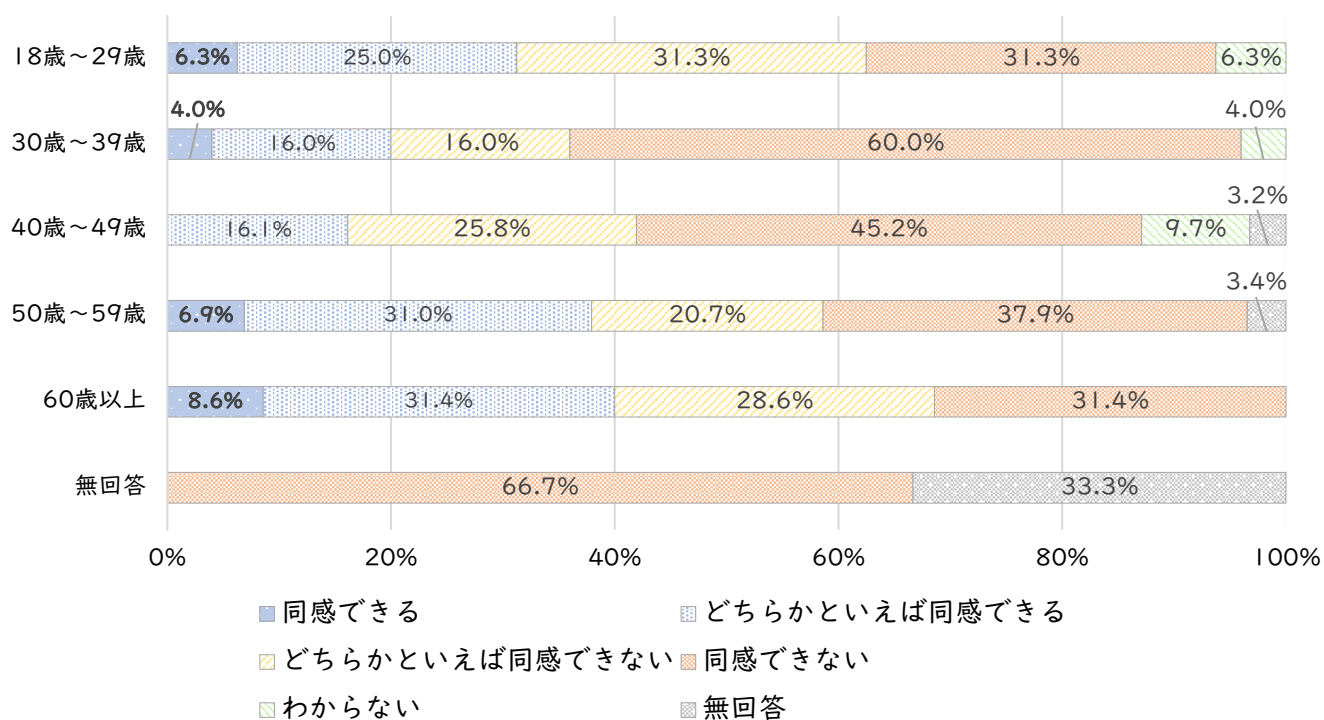
問3-ア「男は仕事、女は家庭」という考え方について

	回答者数	割合
同感できる	7 人	5.0%
どちらかといえば同感できる	33 人	23.7%
どちらかといえば同感できない	33 人	23.7%
同感できない	58 人	41.7%
わからない	5 人	3.6%
無回答	3 人	2.2%
合計	139 人	100.0%

「男は仕事、女は家庭」という考え方（性別毎）



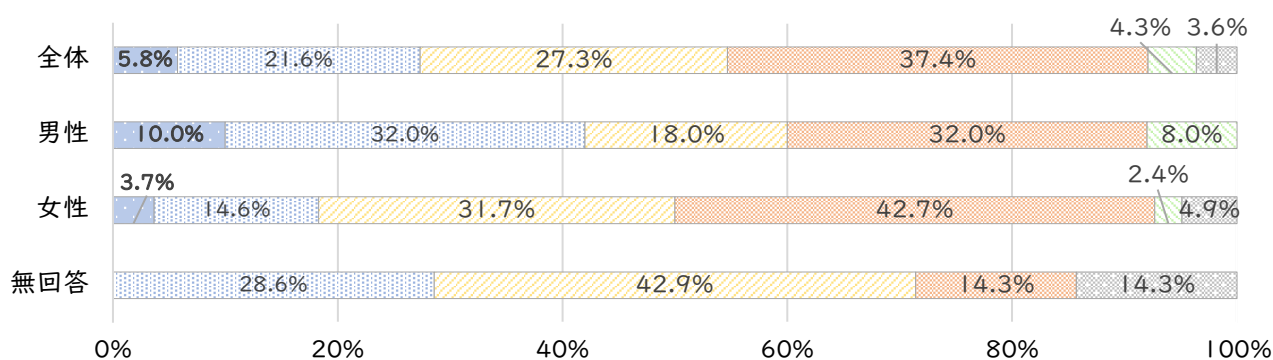
「男は仕事、女は家庭」という考え方（年代毎）



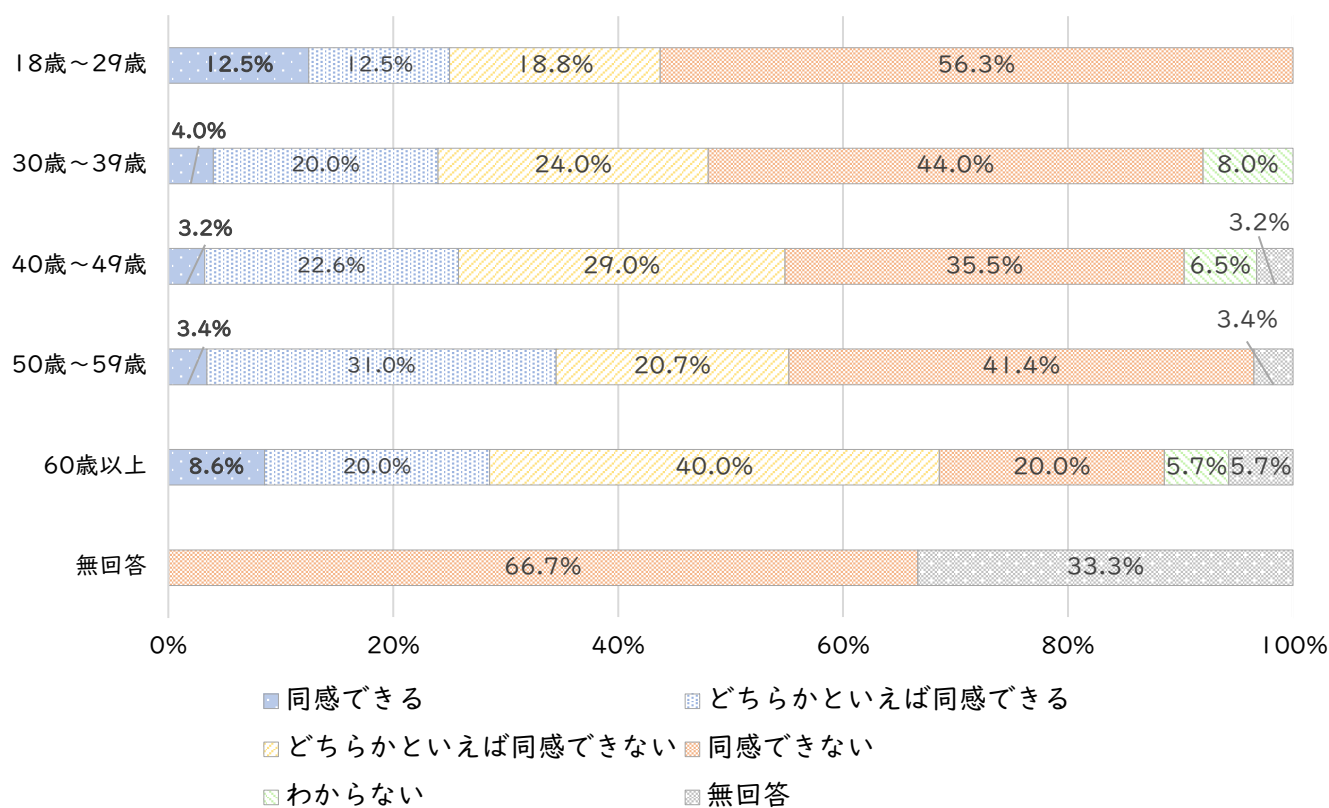
問3-イ「男だから、女だから」という考え方について

	回答者数	割合
同感できる	8 人	5.8%
どちらかといえば同感できる	30 人	21.6%
どちらかといえば同感できない	38 人	27.3%
同感できない	52 人	37.4%
わからない	6 人	4.3%
無回答	5 人	3.6%
合計	139 人	100.0%

「男だから、女だから」という考え方（性別毎）



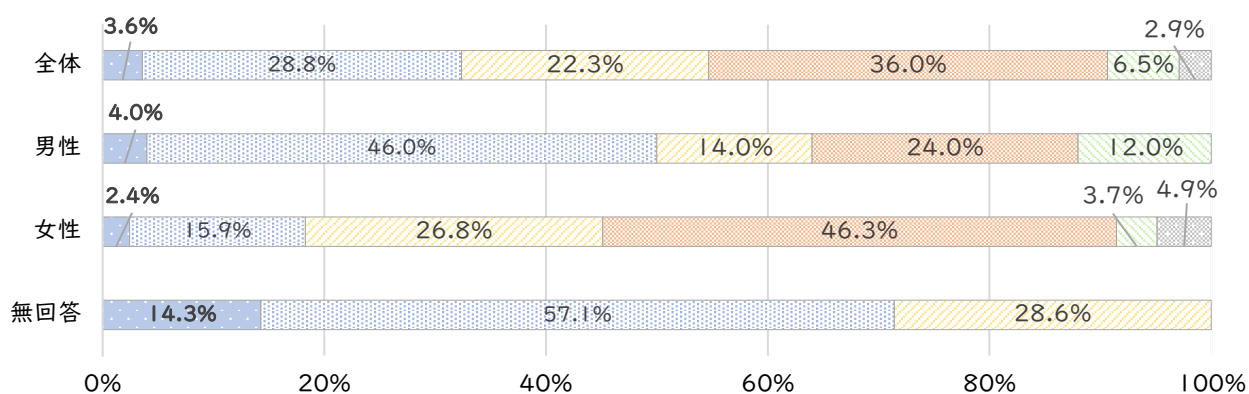
「男だから、女だから」という考え方（年代毎）



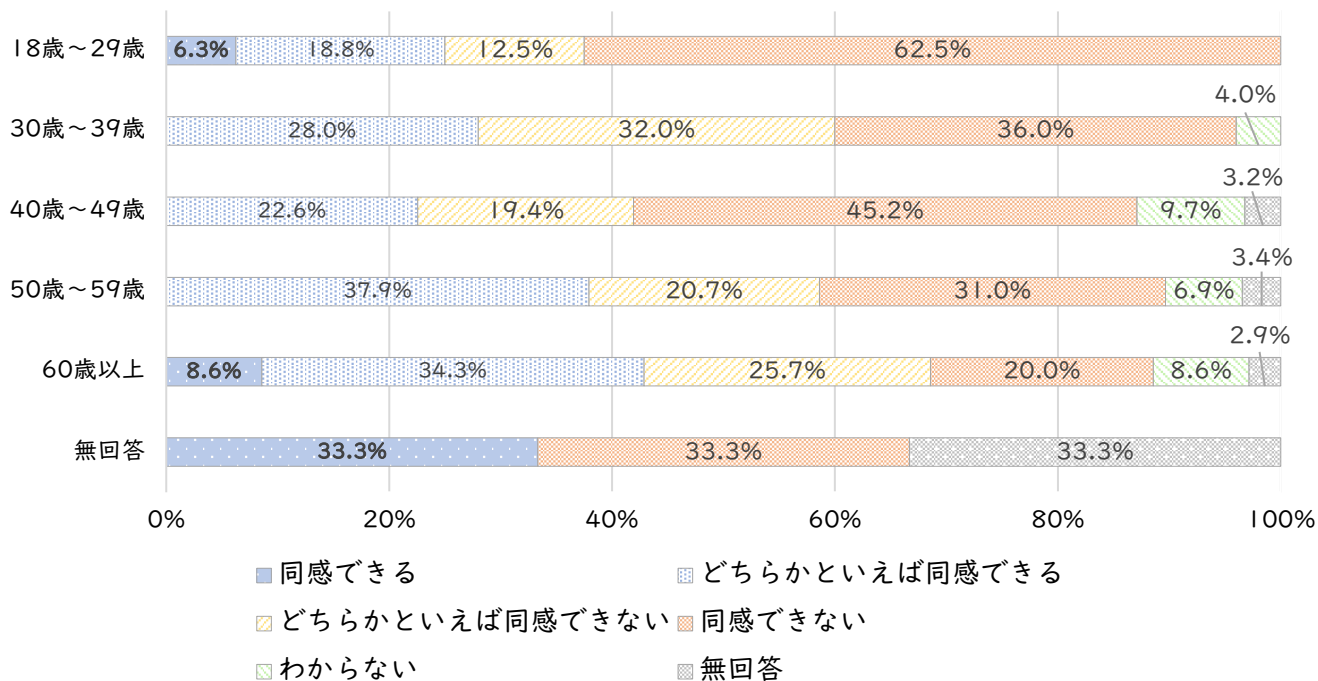
問3-ウ 「男の子は男らしく、女の子は女らしく」という考え方について

	回答者数	割合
同感できる	5 人	3.6%
どちらかといえば同感できる	40 人	28.8%
どちらかといえば同感できない	31 人	22.3%
同感できない	50 人	36.0%
わからない	9 人	6.5%
無回答	4 人	2.9%
合計	139 人	100.0%

「男の子は男らしく、女の子は女らしく」という考え方
(性別毎)



「男の子は男らしく、女の子は女らしく」という考え方
(年代毎)



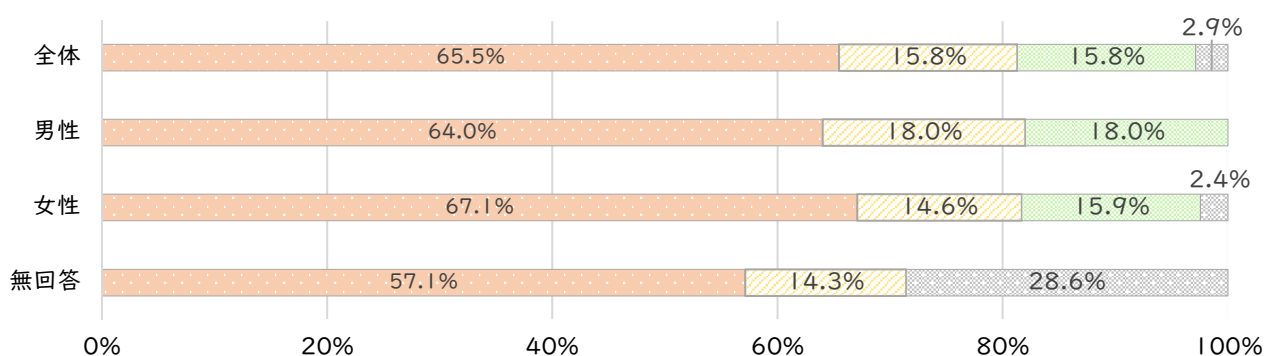
《家庭生活・地域活動について》

問4 あなたの家庭では次の項目（ア～オ）について普段どのように行っていますか。

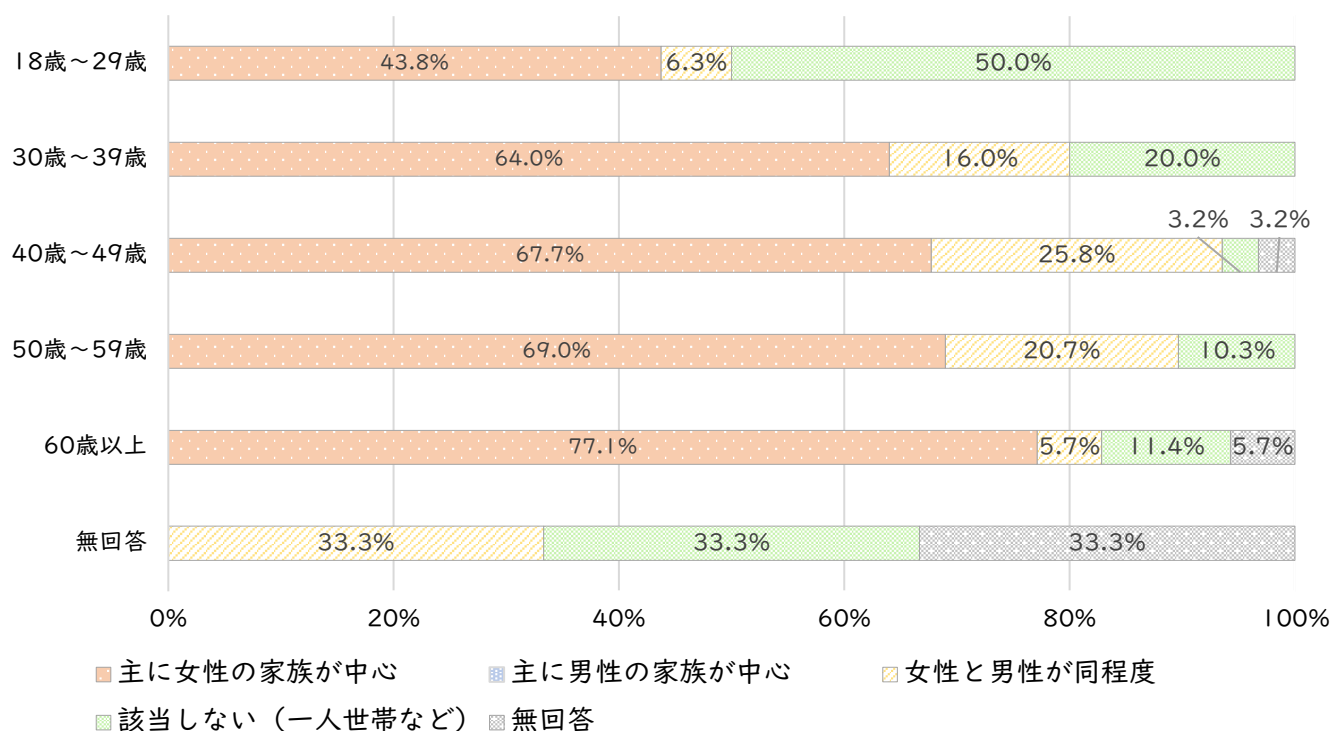
問4-ア 家事（炊事、洗濯、掃除など）について

	回答者数	割合
主に女性の家族が中心	91 人	65.5%
主に男性の家族が中心	0 人	0.0%
女性と男性が同程度	22 人	15.8%
該当しない（一人世帯など）	22 人	15.8%
無回答	4 人	2.9%
合計	139 人	100.0%

家事（炊事、洗濯、掃除など）（性別毎）



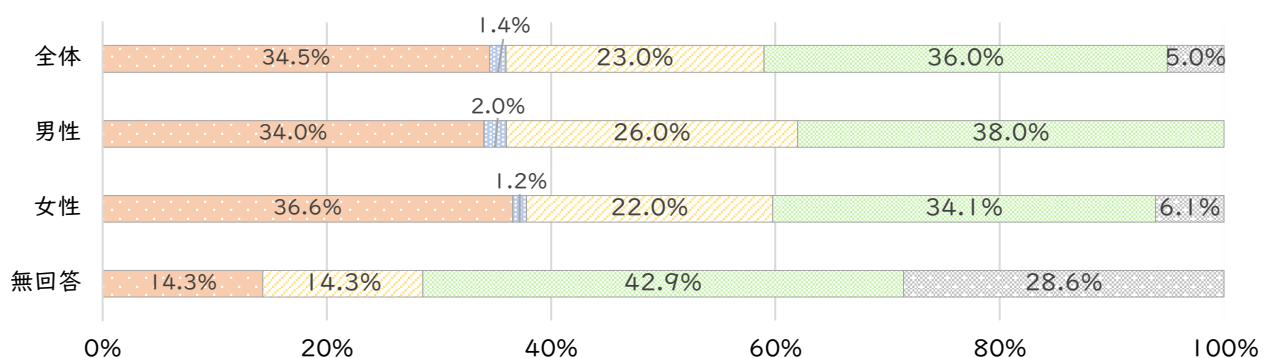
家事（炊事、洗濯、掃除など）について（年代毎）



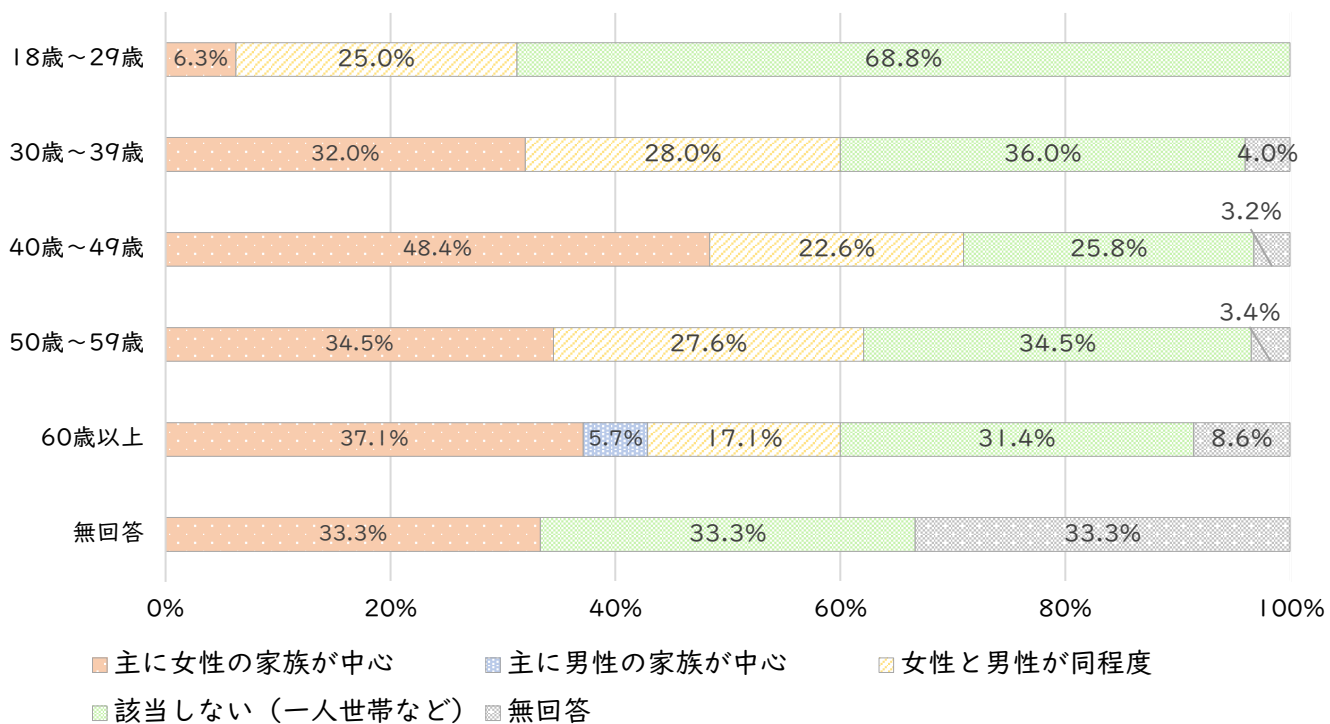
問4-イ 子育てについて

	回答者数	割合
主に女性の家族が中心	48 人	34.5%
主に男性の家族が中心	2 人	1.4%
女性と男性が同程度	32 人	23.0%
該当しない（一人世帯など）	50 人	36.0%
無回答	7 人	5.0%
合計	139 人	100.0%

子育てについて（性別毎）



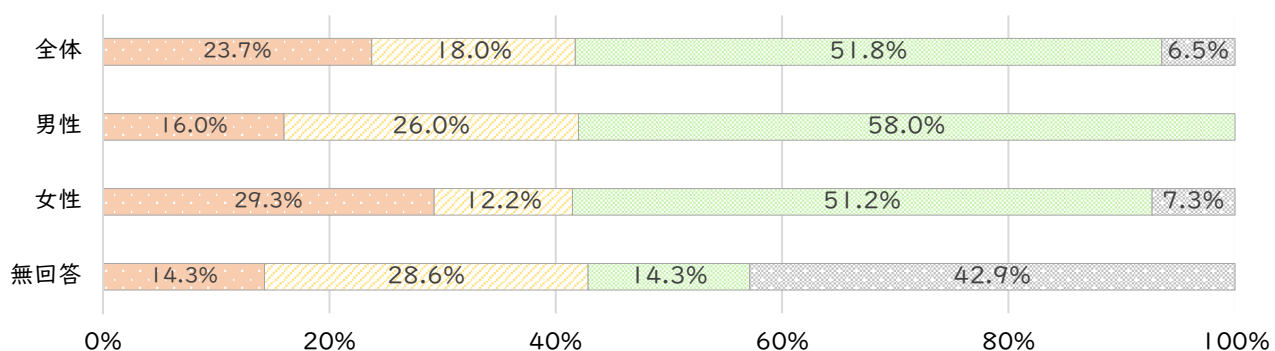
子育てについて（年代毎）



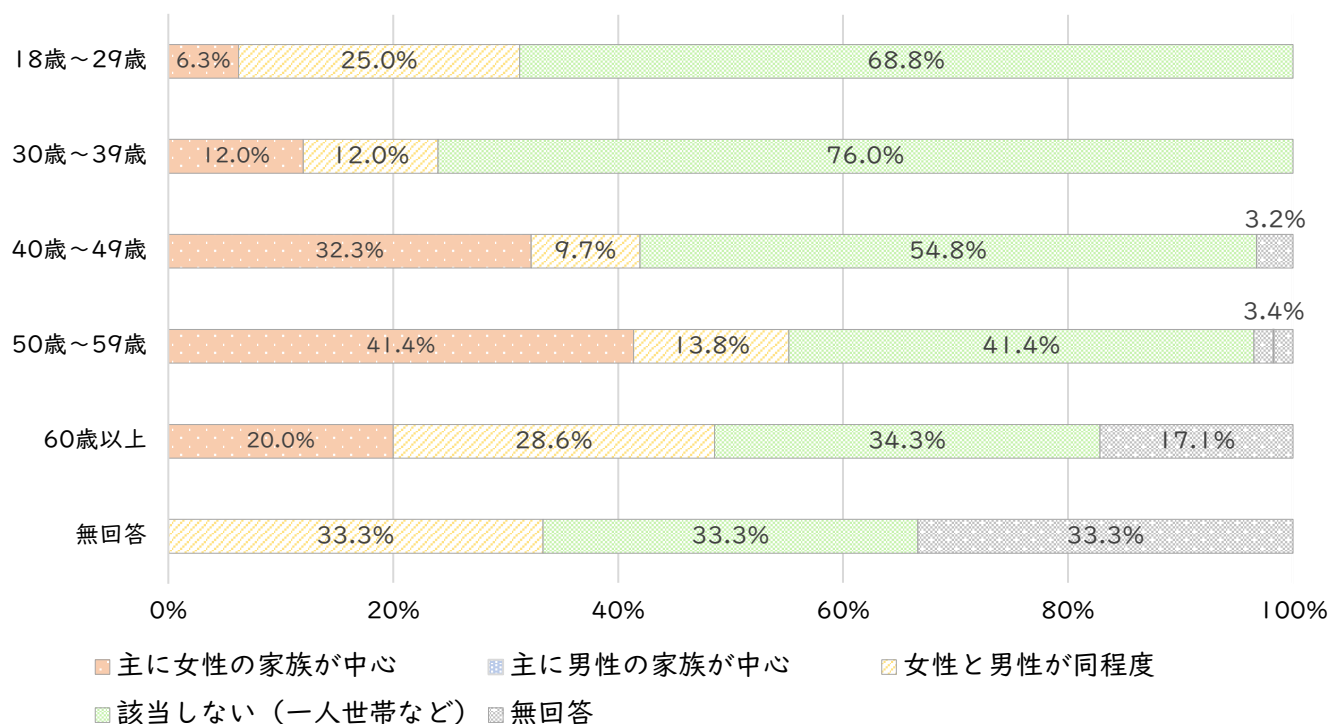
問4-ウ 介護について

	回答者数	割合
主に女性の家族が中心	33 人	23.7%
主に男性の家族が中心	0 人	0.0%
女性と男性が同程度	25 人	18.0%
該当しない（一人世帯など）	72 人	51.8%
無回答	9 人	6.5%
合計	139 人	100.0%

介護について（性別毎）



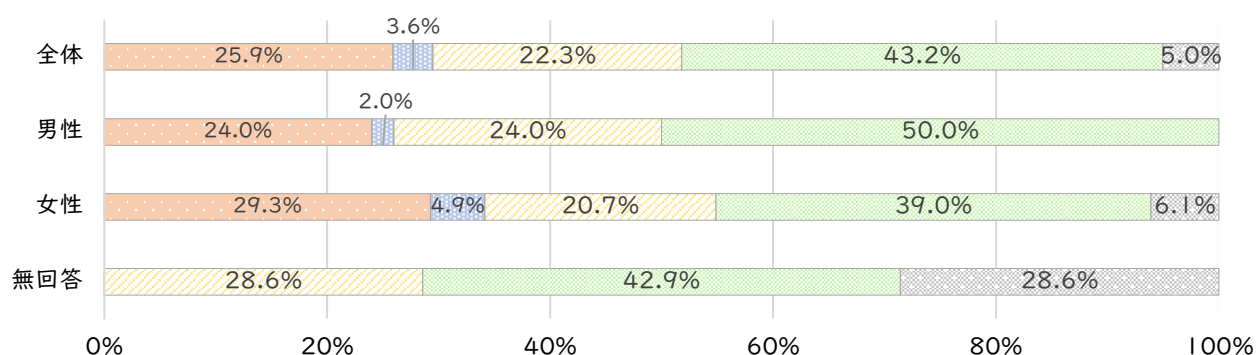
介護について（年代毎）



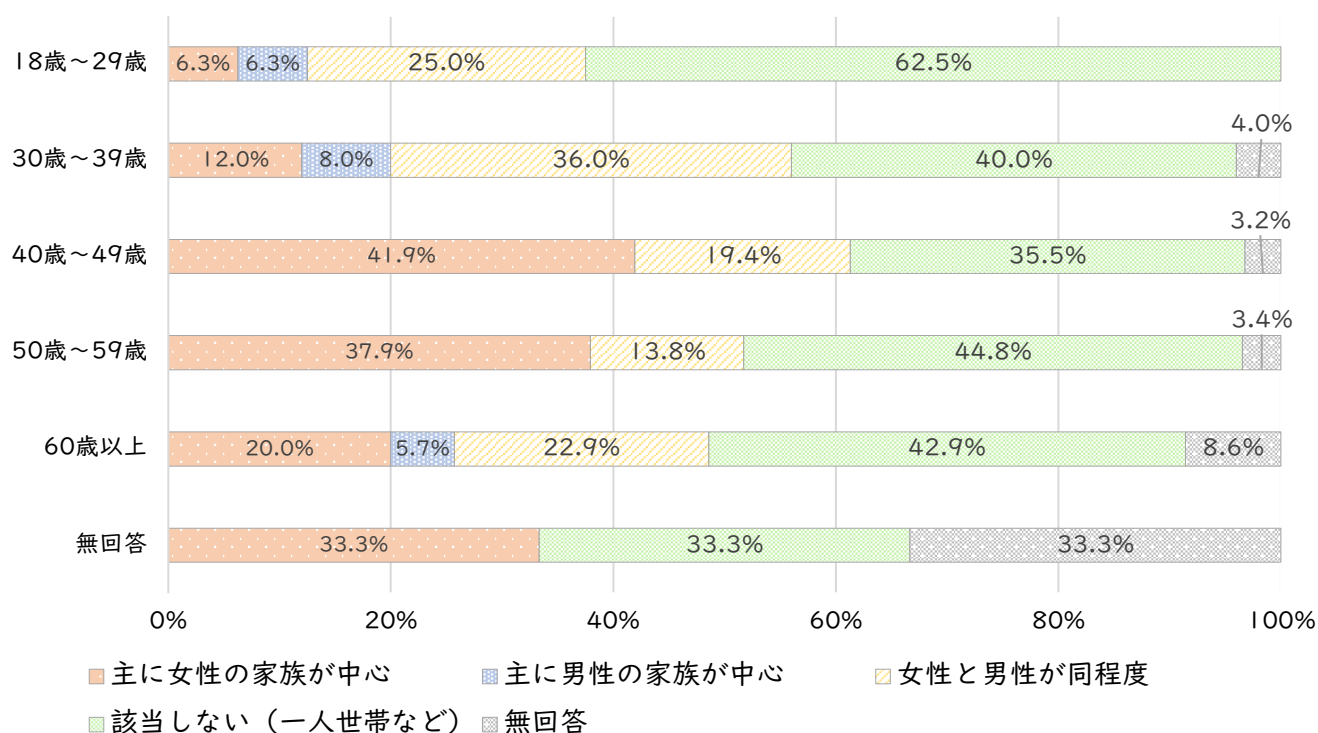
問4-エ 学校行事・PTA 活動について

	回答者数	割合
主に女性の家族が中心	36 人	25.9%
主に男性の家族が中心	5 人	3.6%
女性と男性が同程度	31 人	22.3%
該当しない（一人世帯など）	60 人	43.2%
無回答	7 人	5.0%
合計	139 人	100.0%

学校行事・PTA活動について（性別毎）



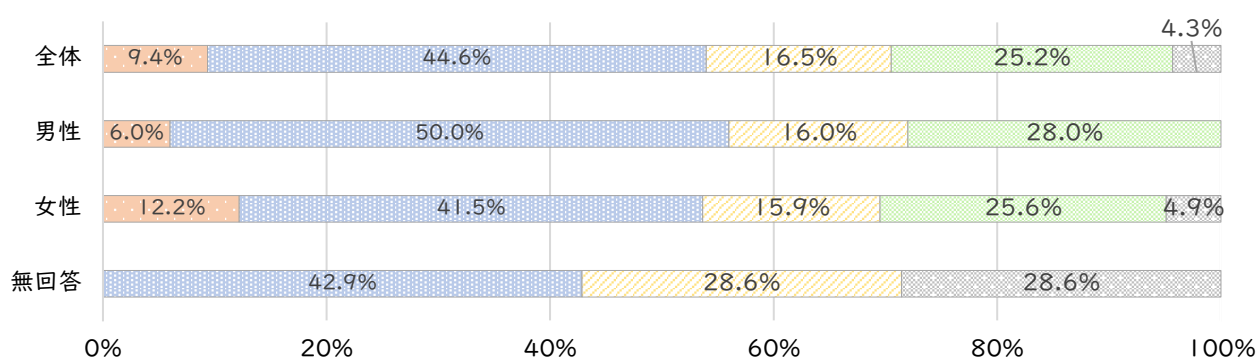
学校行事・PTA活動について（年代毎）



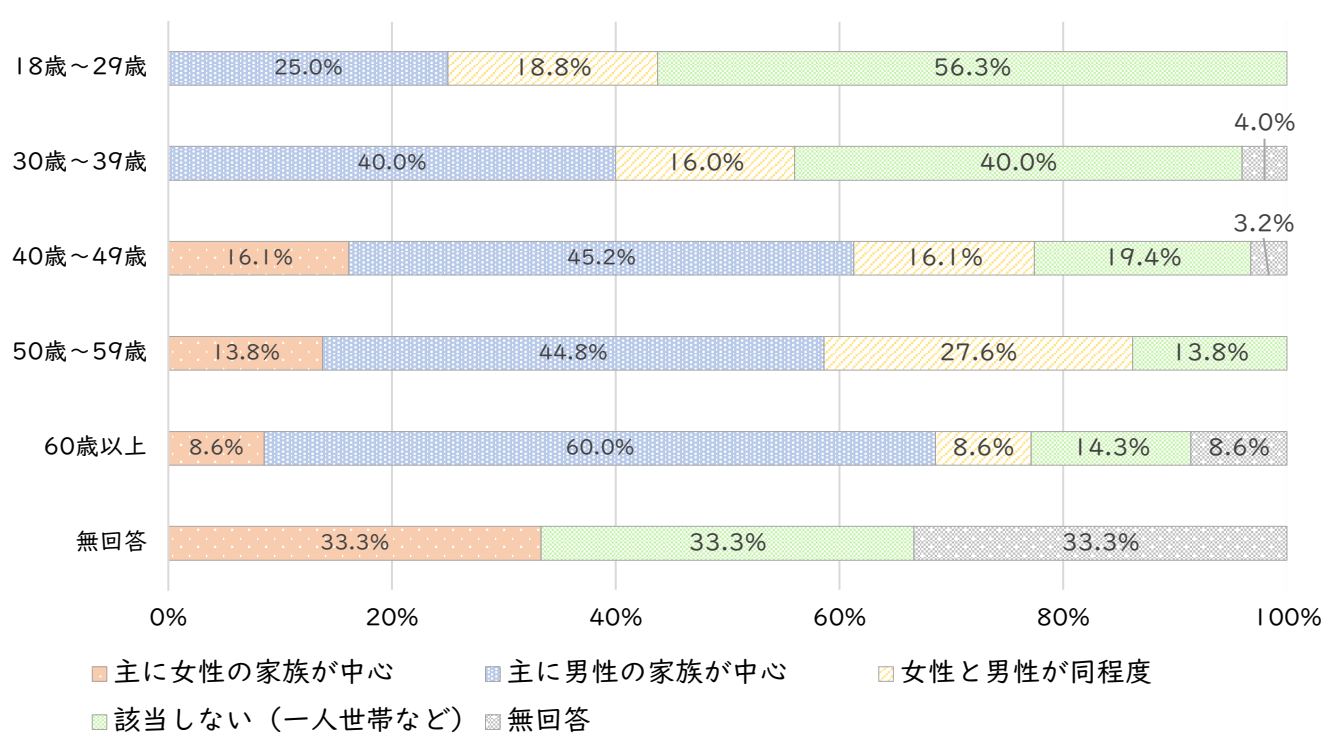
問4-オ 行政区活動について

	回答者数	割合
主に女性の家族が中心	13 人	9.4%
主に男性の家族が中心	62 人	44.6%
女性と男性が同程度	23 人	16.5%
該当しない（一人世帯など）	35 人	25.2%
無回答	6 人	4.3%
合計	139 人	100.0%

行政区活動について（性別毎）



行政区活動について（年代毎）

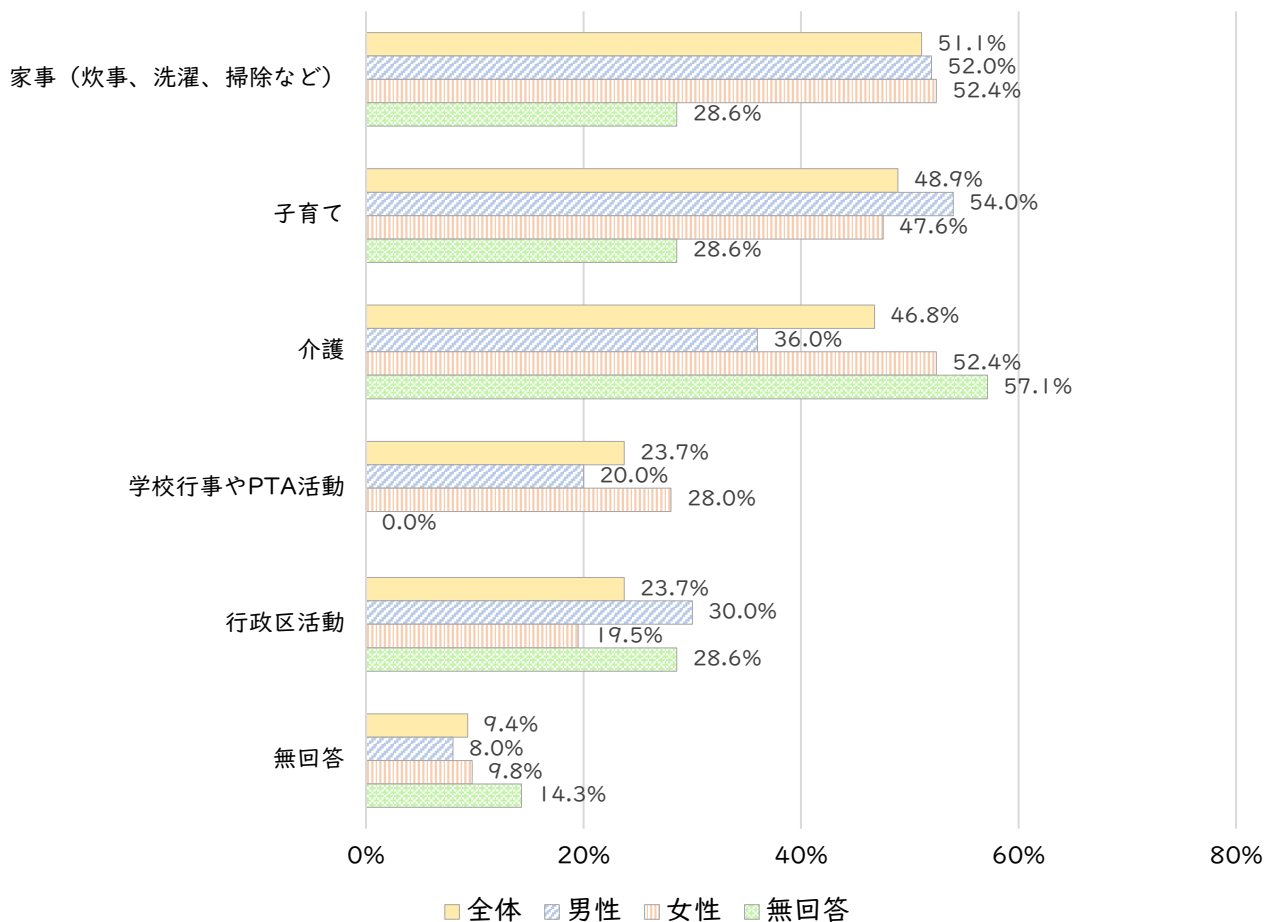


問5 男女共同の意識やその取組が進んでいないと思うものは何ですか。

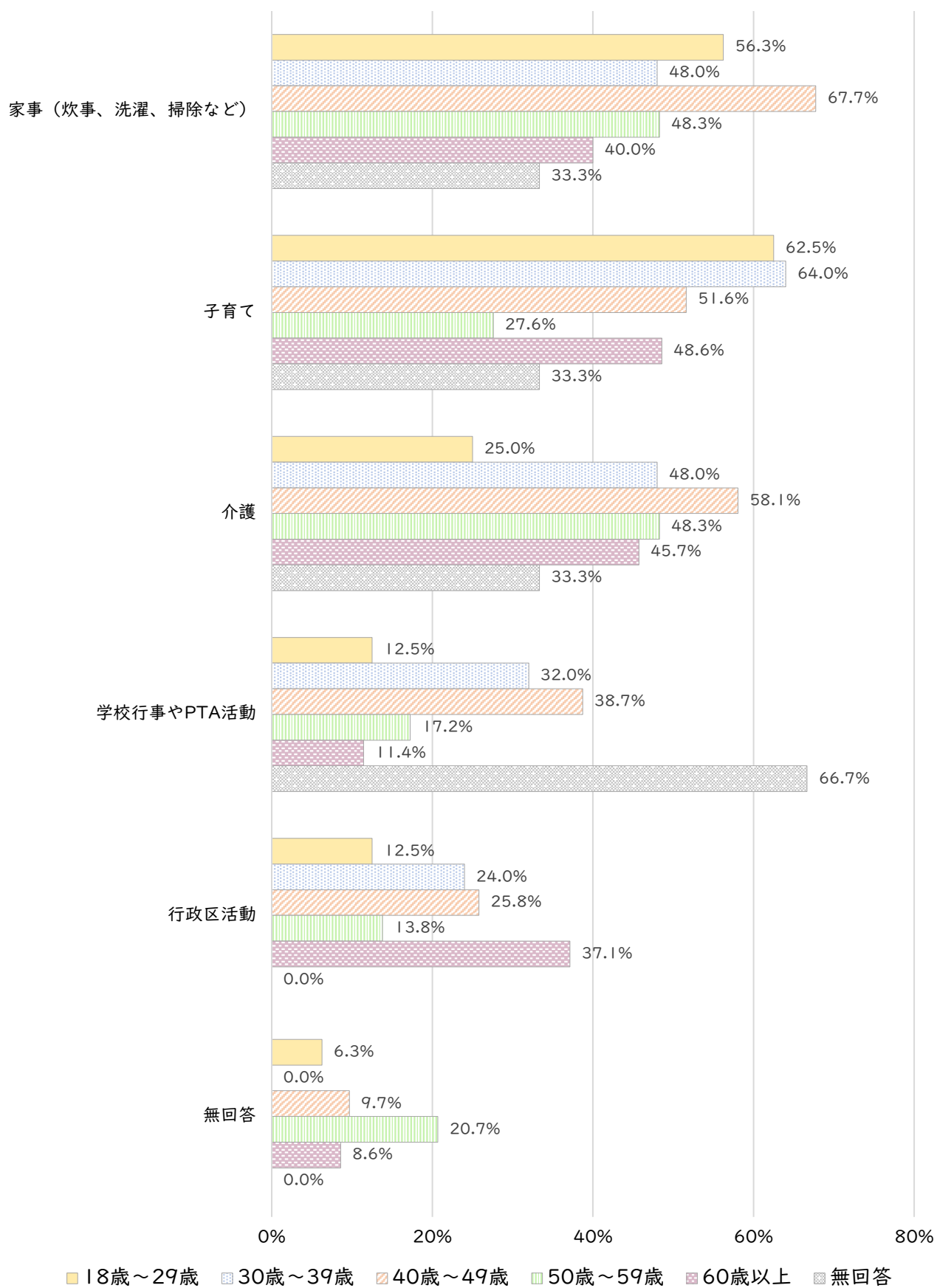
(複数選択可)

	回答者数	割合
家事(炊事、洗濯、掃除など)	71人	51.1%
子育て	68人	48.9%
介護	65人	46.8%
学校行事やPTA活動	33人	23.7%
行政区活動	33人	23.7%
無回答	13人	9.4%
自由記入(5人) ・仕事(30代男性) ・わからない(年代未記入女性) ・周りでは男女それぞれ取組でいると思います(50代女性) ・共働きなのか専業なのかどうかで異なると思います。(40代男性) ・職場・議員など(40代女性)		

男女共同の意識やその取組が進んでいないと思うもの
(性別毎)



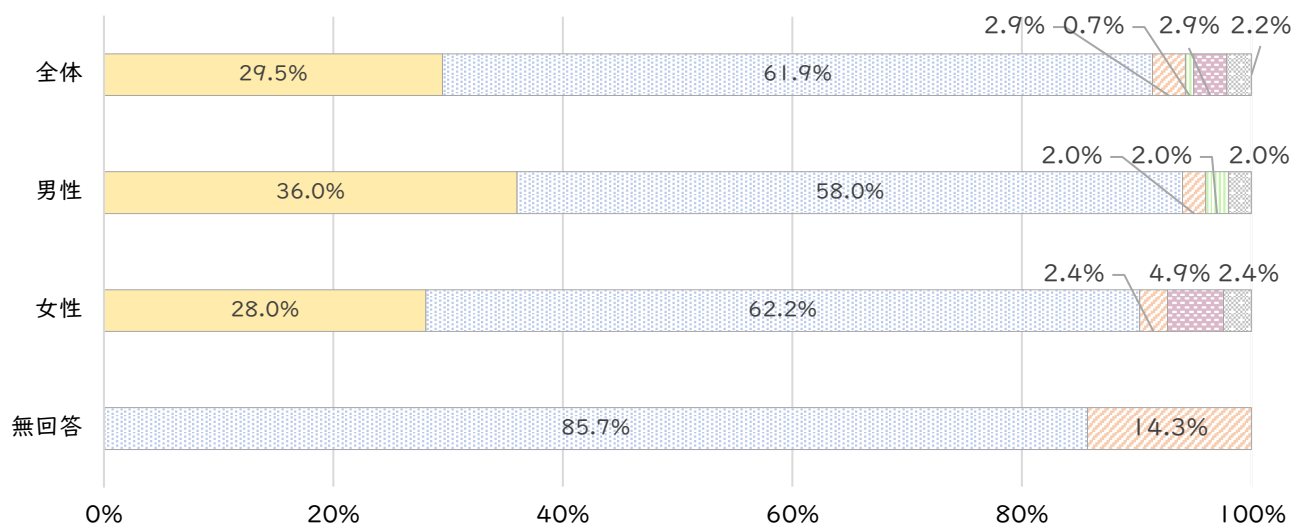
男女共同の意識やその取組が進んでいないと思うもの
(年代毎)



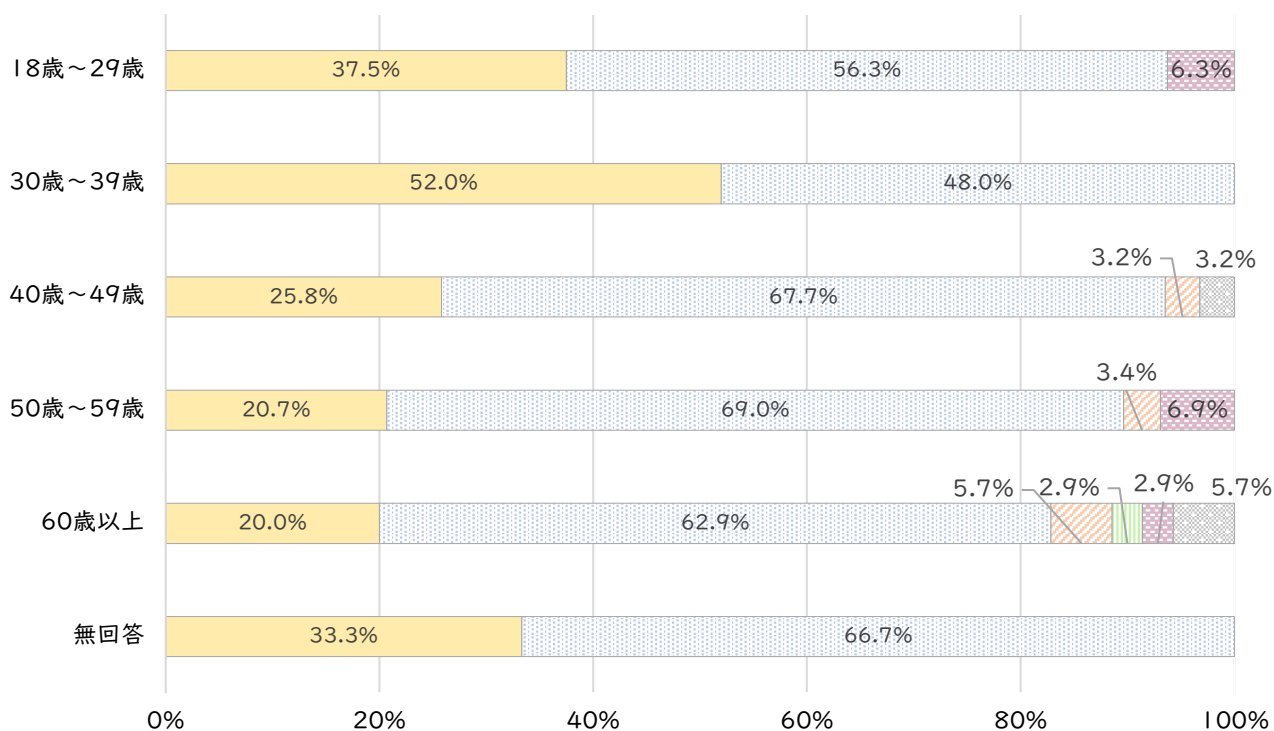
問6 一般的に共働きの家庭での家事や育児・介護の役割分担についてどのように思っていますか。

	回答者数	割合
男女とも同じように家事や育児・介護を行うのがよい	41 人	29.5%
どちらでも手の空いている方が家事や育児・介護を行うのがよい	86 人	61.9%
家事や育児・介護は女性が主に行い、男性は女性を手伝う程度でよい	4 人	2.9%
男性は家事や育児・介護をしなくてよい	1 人	0.7%
わからない	4 人	2.9%
無回答/無効	3 人	2.2%
合計	139 人	100.0%
自由記入(10人) ・性別に関係無く得意な事・不得意な事などを話し合っ、主に何を担当するか決めれば良い。(40代女性) ・家庭の状況による(30代男性) ・共働きかどうか、そうであっても労働時間に差があるかどうか等、場合によるところが一番重用かと思います。(40代性別未記入) ・男性も休みがとりやすい環境づくりが必要だと思います。(50代男性) ・各々の家庭の状況に応じて協力しながらやれば分担内容は重視しない。(40代女性) ・家事の中で役割を分担するということもあっても良い。(60代以上男性) ・それぞれが得意なことをやれば良いと思う(30代女性) ・社会のしくみを整えないと、分担は不可能(40代女性) ・手の空いてる方がやる、との回答をしましたが、役割分担と決めつけない。自分一人で抱え込まない。出来ない時は協力し合うかお願いする。その時はありがとうと声掛けをする。無理しないで出来る事をする。が私の本当の意見です。(40代女性) ・二番目の考えに近いのですが、男女の括りに捕らわれず、出来る場面や得意不得意・適正の有無などで判断すべきです。話し合いの上で、全員が納得の上で改善しながら進めて行かないと家族といえども、不満や軋轢が生じるのは避けられません(60代以上男性)		

共働きの家庭での家事等の役割分担について (性別毎)



共働きの家庭での家事等の役割分担について (年代毎)



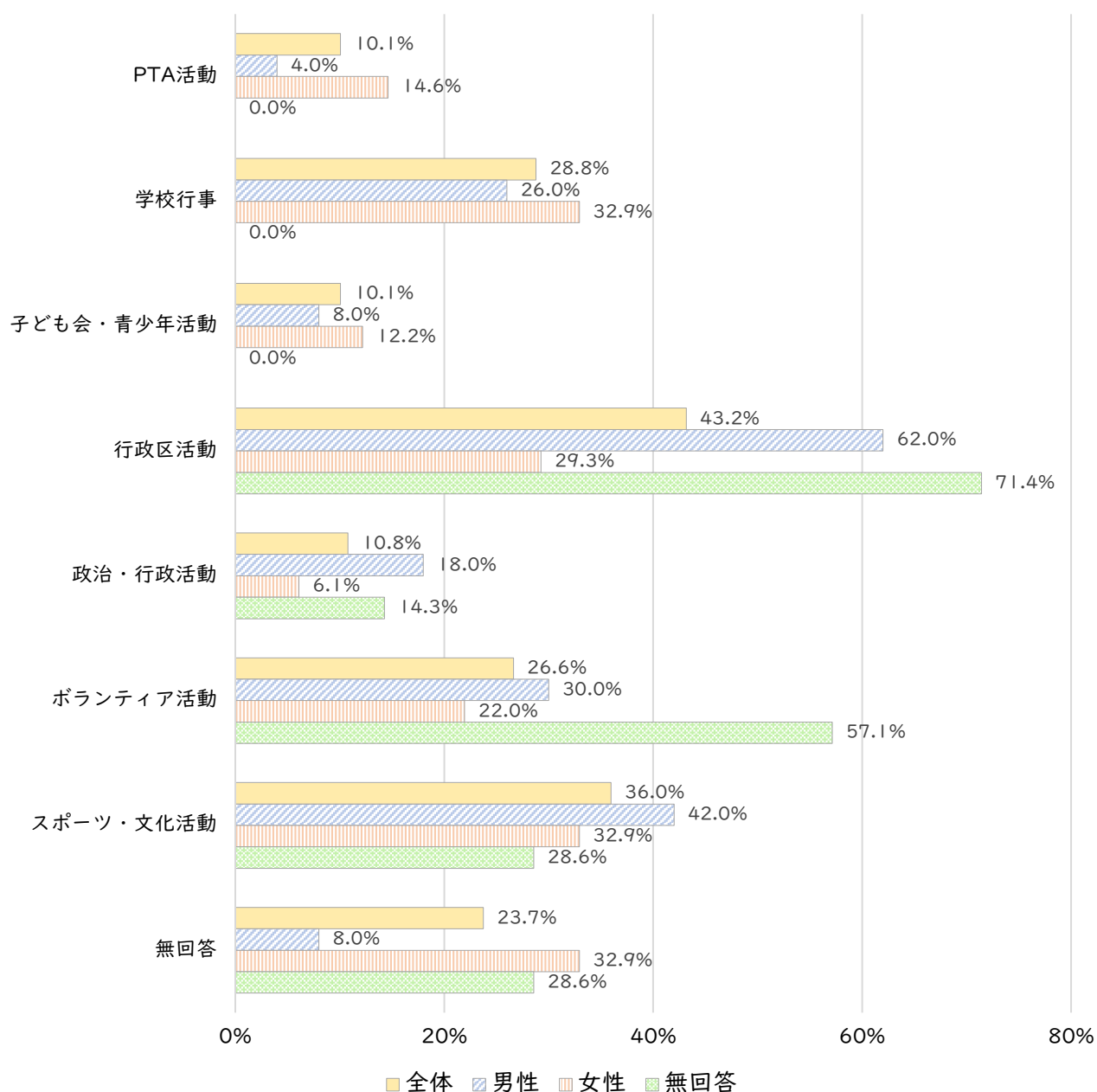
- 男女とも同じように家事や育児・介護を行うのがよい
- どちらでも手の空いている方が家事や育児・介護を行うのがよい
- 家事や育児・介護は女性が主に行い、男性は女性を手伝う程度でよい
- 男性は家事や育児・介護をしなくてよい
- わからない
- 無回答

問7 現在、主に参加している地域活動、今後も継続したい活動、参加してみたい活動について、それぞれ重要だと思っているもの上位3つを選んでください。

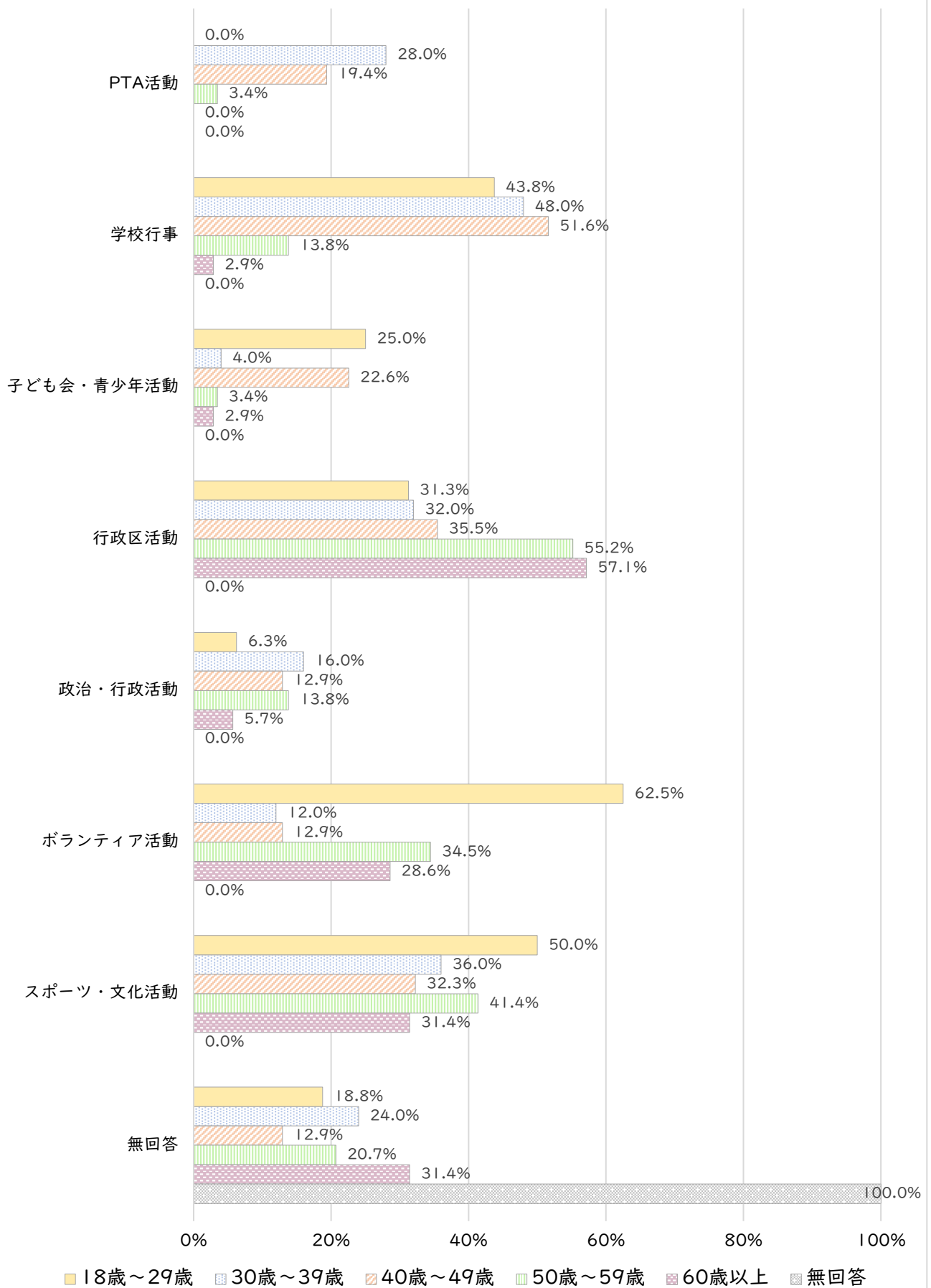
問7-ア 現在主に参加している活動について

	回答者数	割合		回答者数	割合
PTA活動	14人	10.1%	政治・行政活動	15人	10.8%
学校行事	40人	28.8%	ボランティア活動	37人	26.6%
子ども会・青少年活動	14人	10.1%	スポーツ・文化活動	50人	36.0%
行政区活動	60人	43.2%	無回答	33人	23.7%

現在主に参加している活動 上位3つ（性別毎）



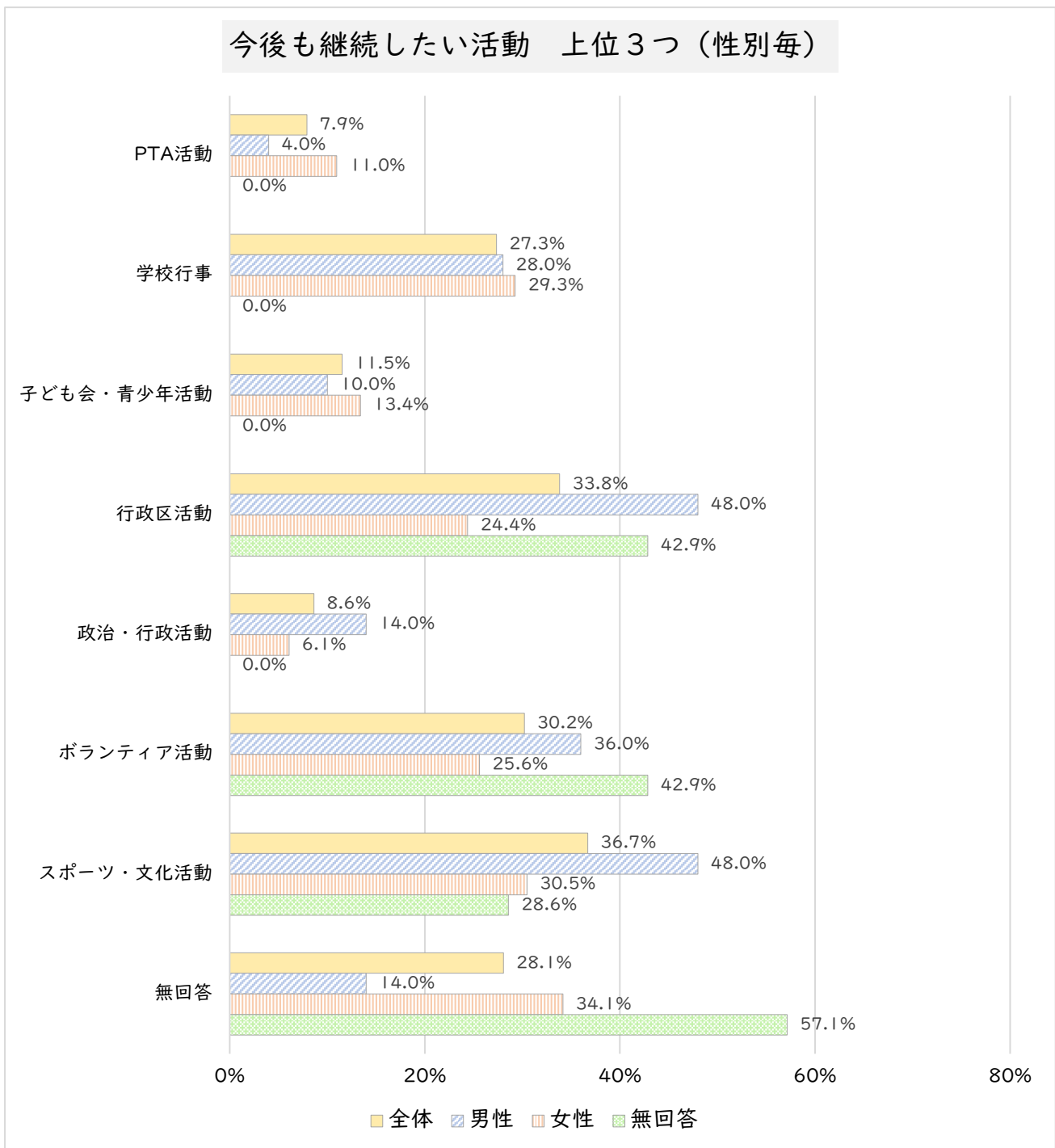
現在主に参加している活動 上位3つ（年代毎）



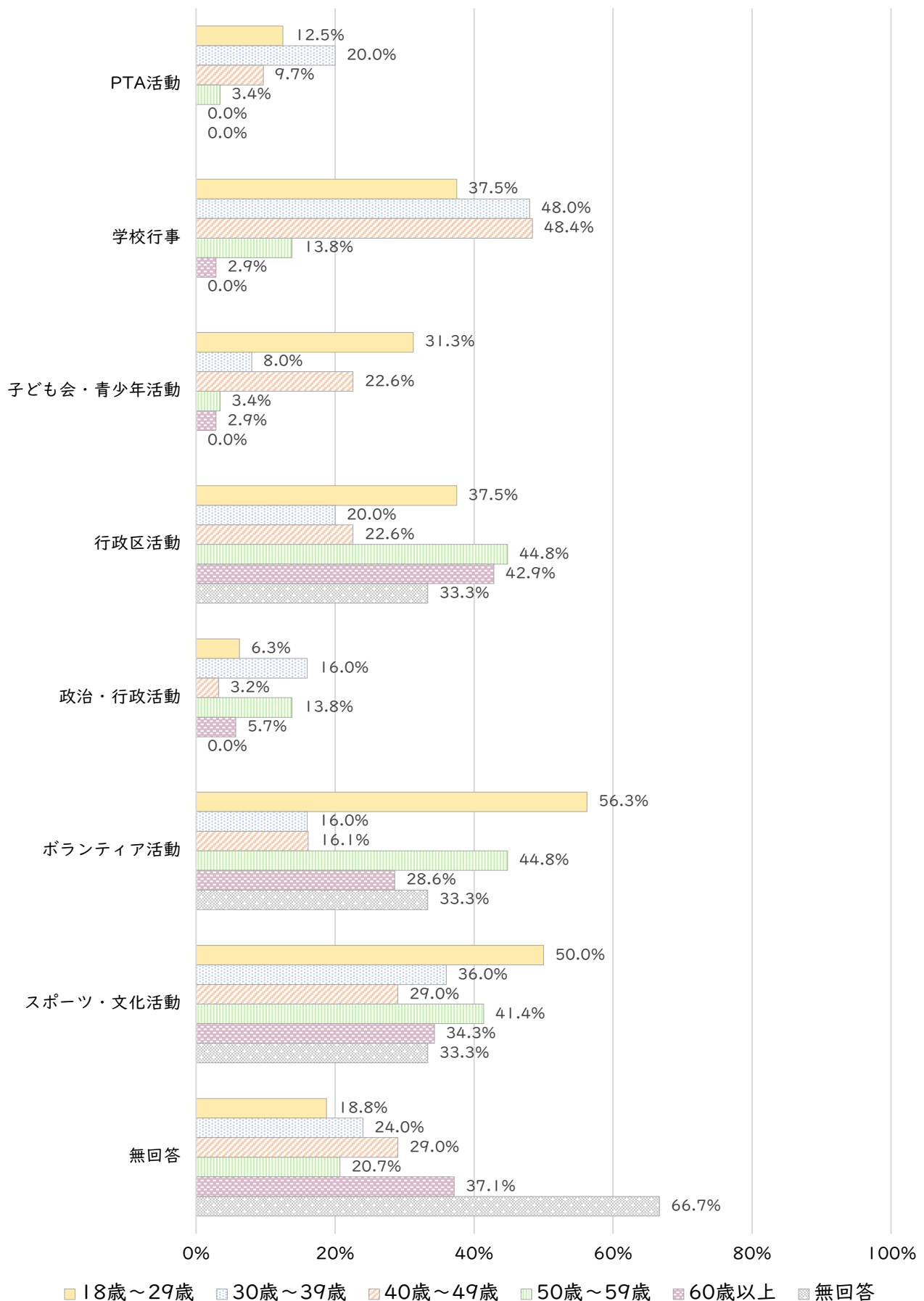
問7-イ 今後も継続したい活動について

	回答者数	割合
PTA 活動	11 人	7.9%
学校行事	38 人	27.3%
子ども会・青少年活動	16 人	11.5%
行政区活動	47 人	33.8%

	回答者数	割合
政治・行政活動	12 人	8.6%
ボランティア活動	42 人	30.2%
スポーツ・文化活動	51 人	36.7%
無回答	39 人	28.1%



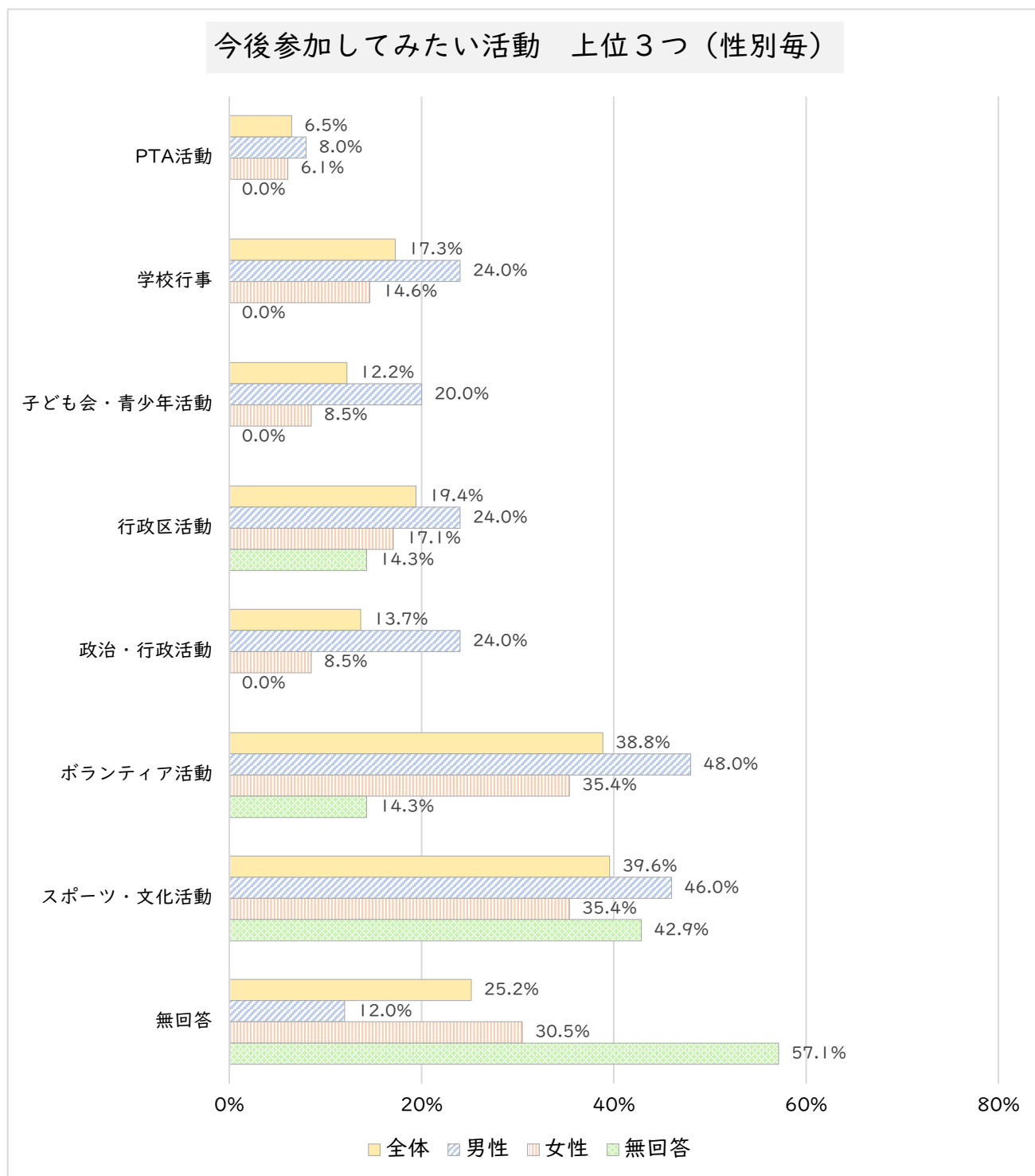
今後も継続したい活動 上位3つ（年代毎）



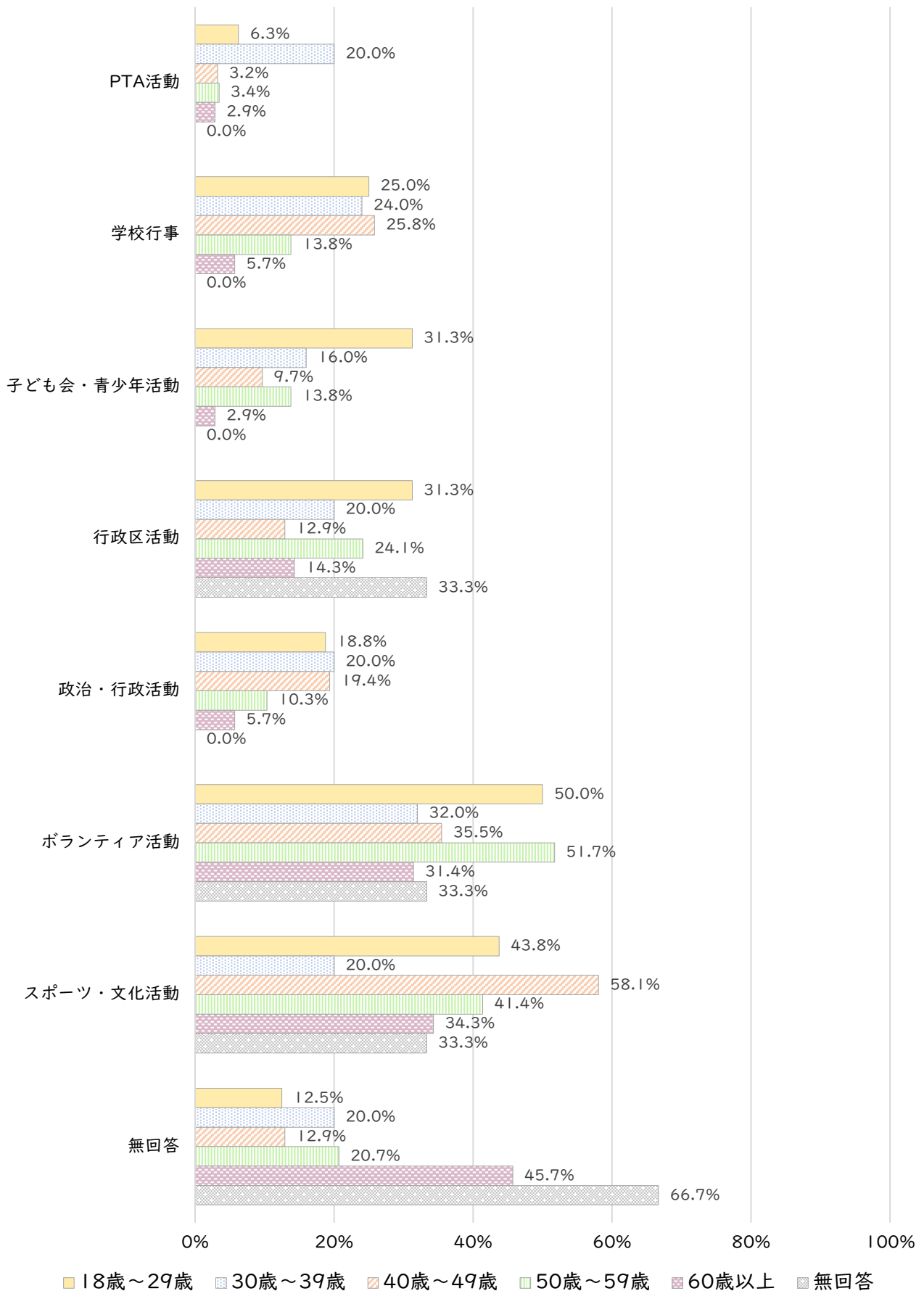
問7-ウ 今後参加してみたい活動について

	回答者数	割合
PTA活動	9人	6.5%
学校行事	24人	17.3%
子ども会・青少年活動	17人	12.2%
行政区活動	27人	19.4%

	回答者数	割合
政治・行政活動	19人	13.7%
ボランティア活動	54人	38.8%
スポーツ・文化活動	55人	39.6%
無回答	35人	25.2%



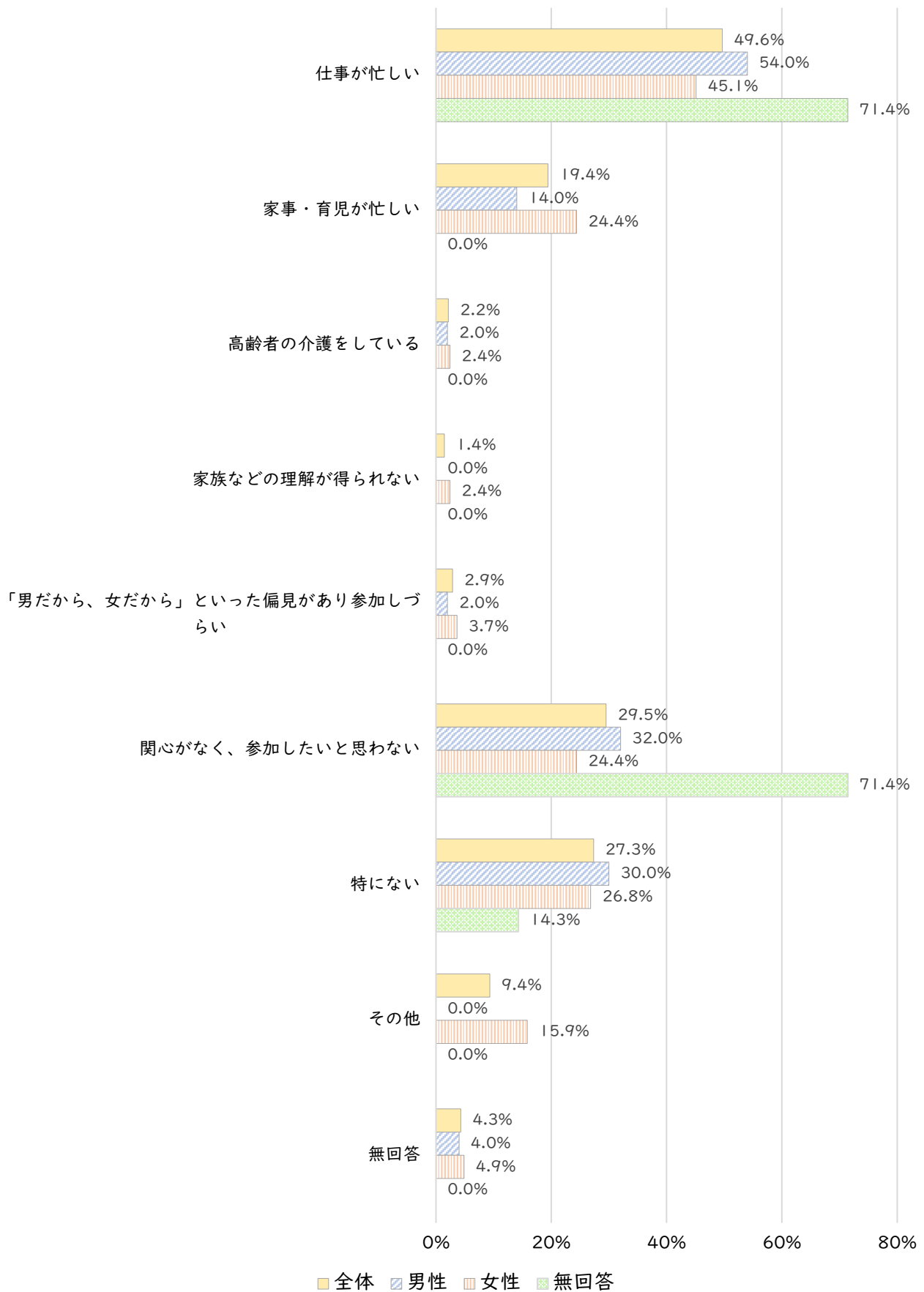
今後参加してみたい活動 上位3つ（年代毎）



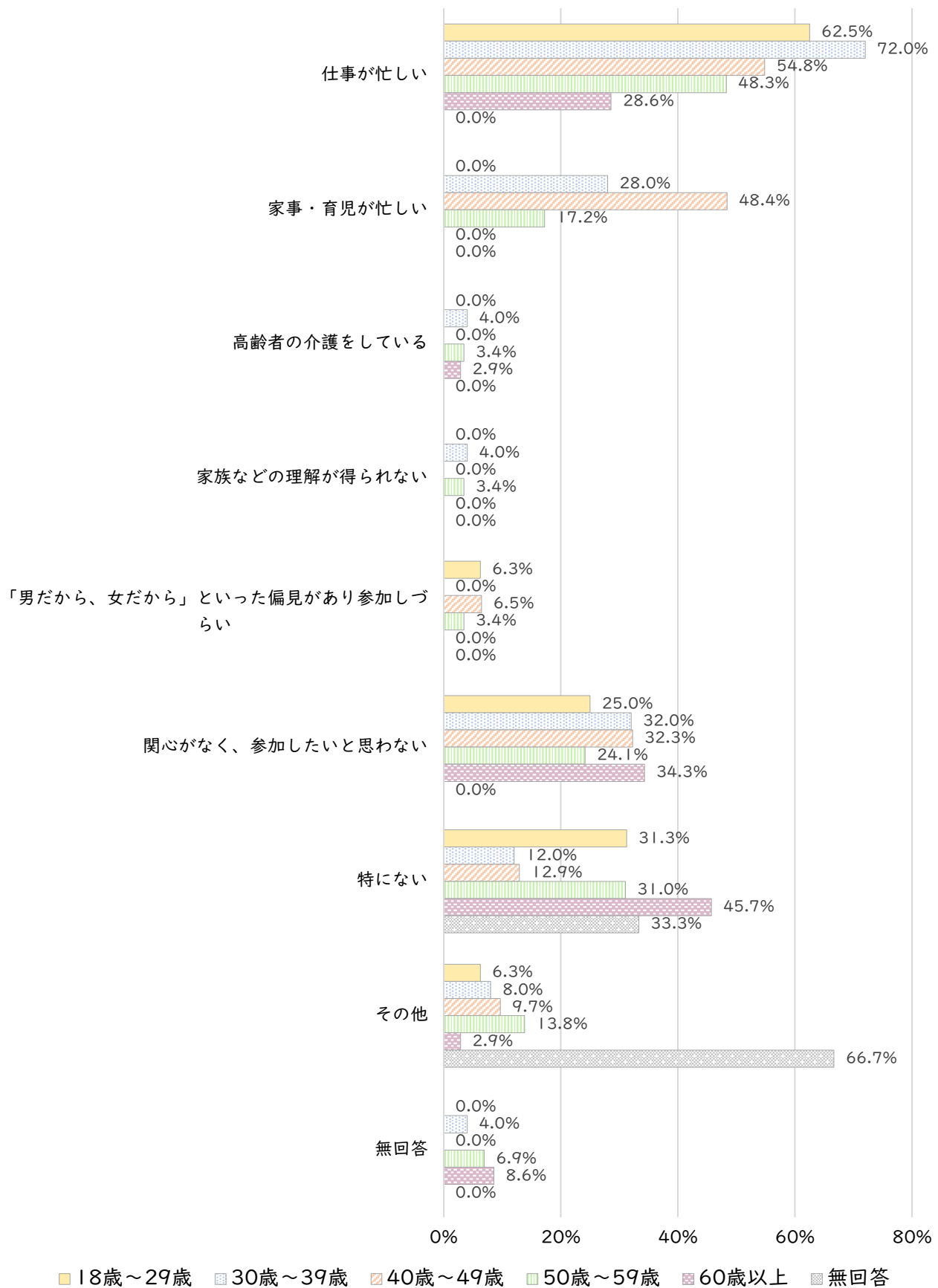
問8 地域活動に参加しにくく感じる理由はありますか。(複数選択可)

	回答者数	割合
仕事が忙しい	69 人	49.6%
家事・育児が忙しい	27 人	19.4%
高齢者の介護をしている	3 人	2.2%
家族などの理解が得られない	2 人	1.4%
「男だから、女だから」といった偏見があり参加しづらい	4 人	2.9%
関心がなく、参加したいと思わない	41 人	29.5%
特にない	38 人	27.3%
その他	13 人	9.4%
無回答	6 人	4.3%
その他を選んだ方の自由記入欄(12人) ・子供が大きくなり地域や学校との接点が少なくなる。(50代女性) ・時間がない(40代性別未記入) ・病気治療中(年代未記入女性) ・休日があわない、時間があわない(50代女性) ・今後機会があれば参加したい(50代女性) ・人間関係でイヤな思いをしたくない(60代以上女性) ・一人世帯のため(30代女性) ・本人よりわからない旨返答あり(50代女性) ・無職だから(30代女性) ・魅力的でない(40代女性) ・村外に働きに行っているため、村内の知り合いが少ない。そのため、行政区の集まりに参加しても知り合いがいらないため参加しにくい。(40代女性) ・いつどのように活動が行われているのか分からないことがある。(20代以下女性)		

地域活動に参加しにくく感じる理由（性別毎）



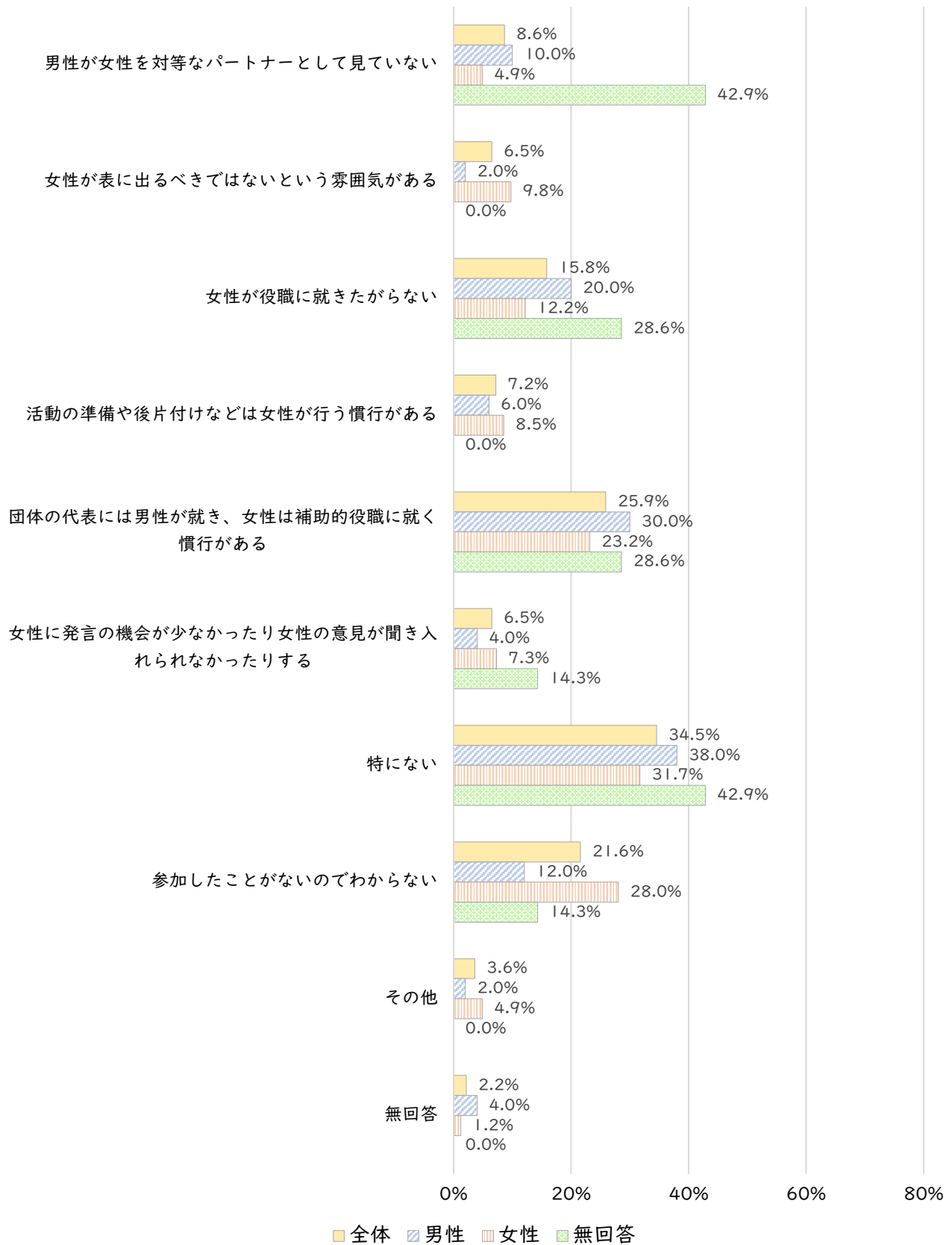
地域活動に参加しにくく感じる理由（年代毎）



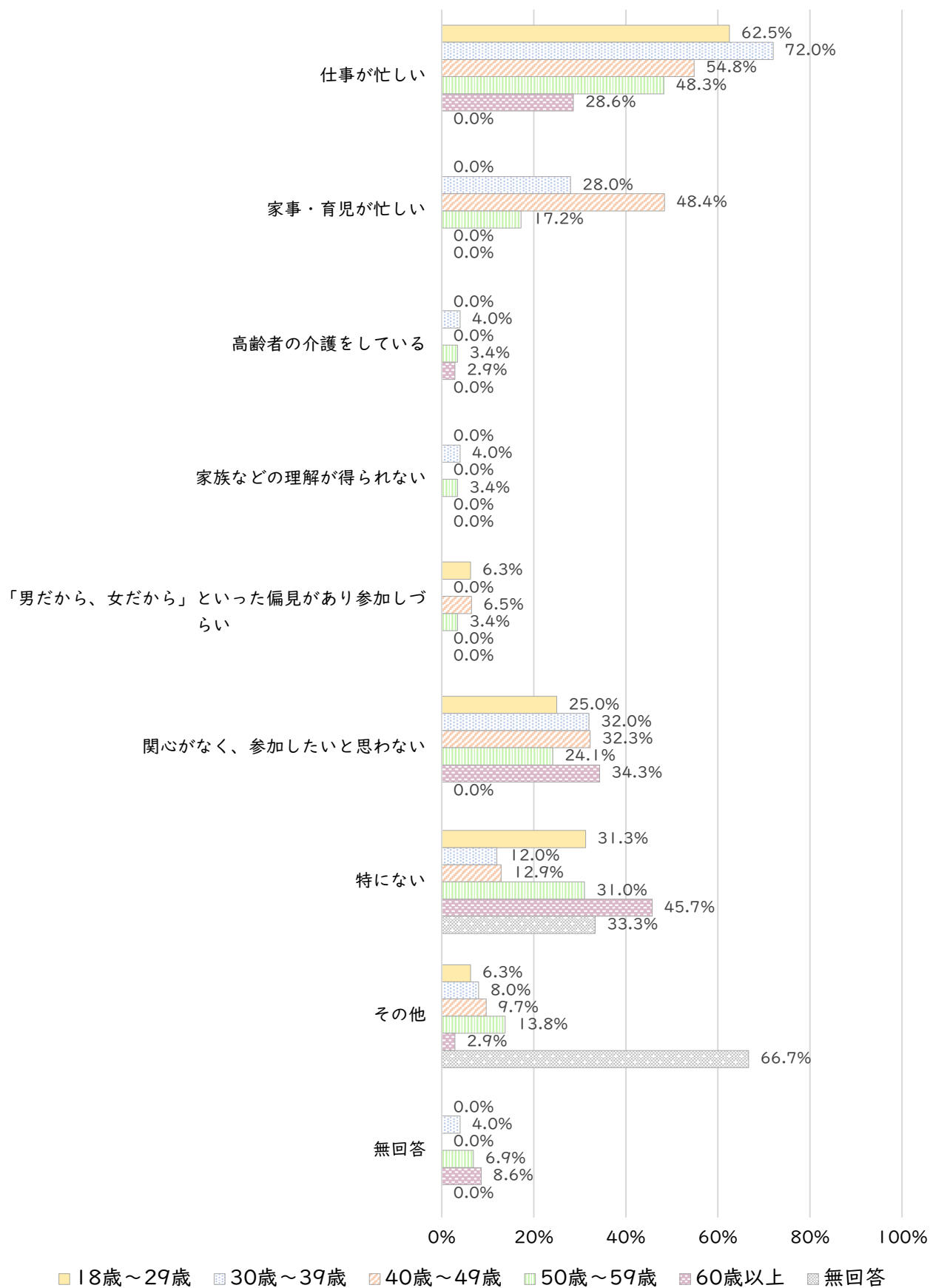
問9 地域活動における男性、女性の役割分担について思うことは何ですか。(複数選択可)

	回答者数	割合
男性が女性を対等なパートナーとして見ていない	12 人	8.6%
女性が表に出るべきではないという雰囲気がある	9 人	6.5%
女性が役職に就きたがらない	22 人	15.8%
活動の準備や後片付けなどは女性が行う慣行がある	10 人	7.2%
団体の代表には男性が就き、女性は補助的役職に就く慣行がある	36 人	25.9%
女性に発言の機会が少なかったり女性の意見が聞き入れられなかったりする	9 人	6.5%
特にない	48 人	34.5%
参加したことがないのでわからない	30 人	21.6%
その他	5 人	3.6%
無回答	3 人	2.2%
「その他」を選んだ方の自由記入欄(4人) ・個々の興味や能力が発揮できる場があるとよい。(50代女性) ・中札内の方々はいつも対等に協力し合っていると感じる。(50代女性) ・考えた事が無い(60代以上女性) ・女性が”女性にも平等な権利を”と発する声が強すぎる(30代男性)		

地域活動における男性、女性の役割分担について思うこと (性別毎)



地域活動における男性、女性の役割分担について思うこと (年代毎)



《職場について》

問10 女性が職業をもつことについてどう思いますか。

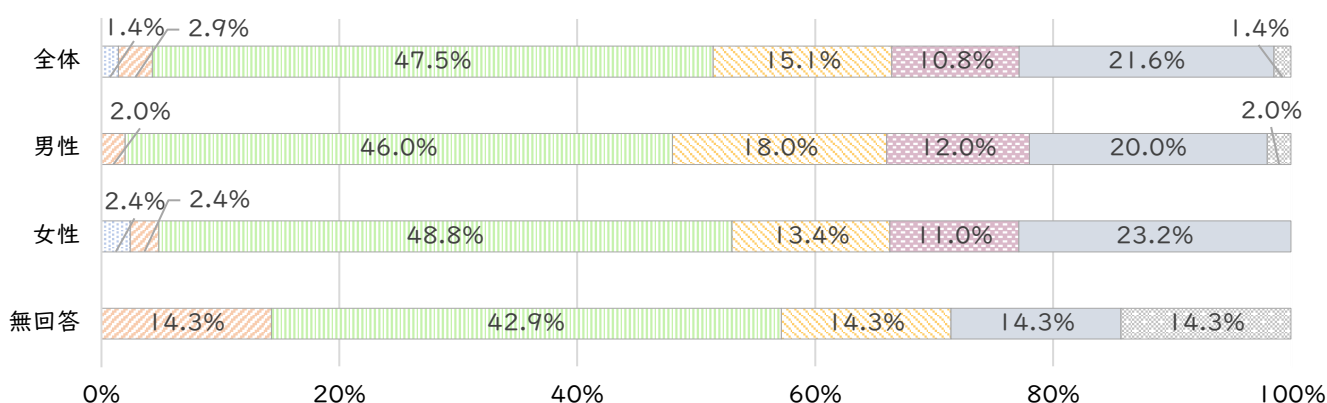
	回答者数	割合
女性は職業をもたない方がよい	0 人	0.0%
結婚するまでは職業をもつ方がよい	2 人	1.4%
子どもができるまでは職業をもつ方がよい	4 人	2.9%
子どもができてずっと職業を続ける方がよい	66 人	47.5%
子どもができたなら職業をやめ、子どもが大きくなったら再び職業をもつ方がよい	21 人	15.1%
わからない	15 人	10.8%
その他	30 人	21.6%
無回答	1 人	0.7%
合計	139 人	100%

「その他」を選んだ方の自由記入欄(30人)

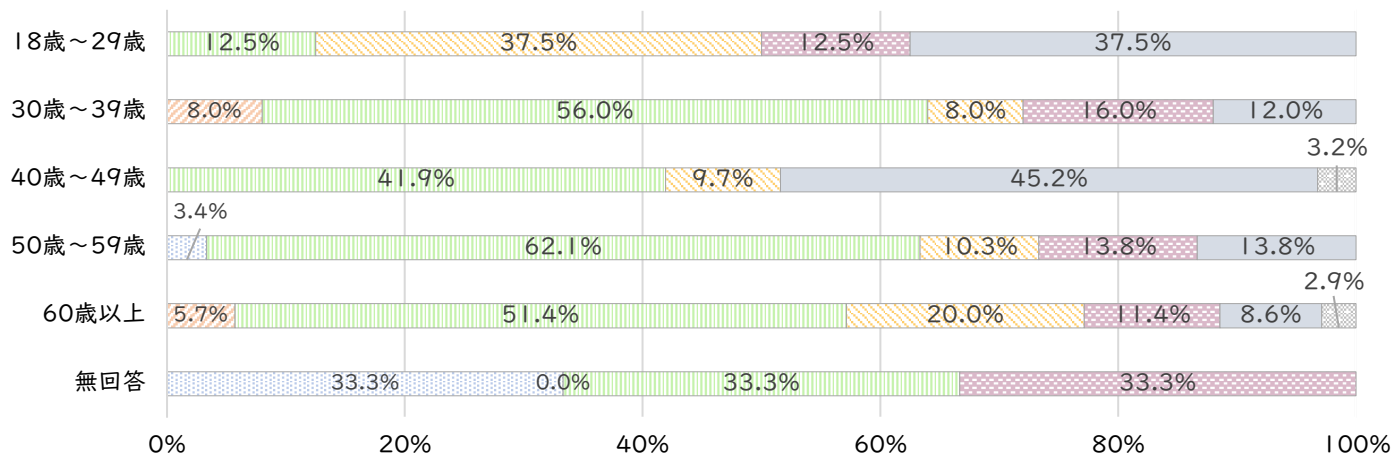
- ・やりたい人がやり続けられる環境を整えるべき(40代女性)
- ・「～方がよい」というよりも「～してもよい」というような選択の自由があってもいいのではないかとと思う。(20代以下女性)
- ・女性の意見を尊重して決めるべきだと思う(20代以下男性)
- ・どちらでもいいと思う(20代以下女性)
- ・個人の判断なのでなんとも言えない(40代男性)
- ・ケースバイケース(40代男性)
- ・家庭の状況による(30代男性)
- ・個人で状況が違うので、何を選択しても良いと思う(40代女性)
- ・個々の希望するワーク・ライフ・バランスが実現できればよい。(50代女性)
- ・必要ならもてばいいし必要なければもたなければいい(40代性別未記入)
- ・その人のライフ状態と仕事に対する思いで決めれば良いと思います(60代以上女性)
- ・好きな様にすればよいと思う(20代以下男性)
- ・個人の自由でよい(40代女性)
- ・家庭の状況による(40代男性)
- ・一生働く(50代女性)
- ・本人が望む人生が歩めればよい(30代女性)
- ・子どもができて無理のない範囲で働けたら良いと思います。(50代女性)
- ・男女関係なく、働いていない方が家事子育てする。(40代男性)
- ・人それぞれ(60代以上女性)
- ・いつ職業を持つのがよいという考えはなく個人の判断で良いと思う。(40代女性)
- ・⑤(子どもができたなら職業をやめ、子どもが大きくなったら再び職業をもつ方がよい)に近いですが、子育てに専念できる経済力があればそうしたかったです。(40代女性)
- ・自身の状態や子どもの幸せを考えて判断すべき。(20代以下女性)
- ・好きに仕事したらいいと思います。(30代女性)

- ・自分が好きなようにするのがよい(40代女性)
- ・各々の環境に合わせて判断すればよいと思う。(20代以下男性)
- ・職業をもちたいと思う人がもてばよい。「女性だから」ということで、決められない(50代女性)
- ・個人の自由(40代女性)
- ・ずっと職業を続ける方がよいが、子供の状況によりけりで決まる(40代女性)
- ・共働きをしないと生活が出来ない家庭が増えていると思います。育児が始まると産休育休や体調不良の子供の世話など結局は女性が率先して行う環境が当たり前となっている世の中なのかと思っています。(40代男性)
- ・本人の意思は勿論、家庭の事情によって様々なので、個々の判断が最優先(60代以上男性)

女性が職業をもつことについて（性別毎）



女性が職業をもつことについて（年代毎）



- 女性が職業をもたない方がよい
- 結婚するまでは職業をもつ方がよい
- 子どもができてからは職業をもつ方がよい
- 子どもができてずっと職業を続ける方がよい
- 子どもができたなら職業をやめ、子どもが大きくなったら再び職業をもつ方がよい
- わからない
- その他
- 無回答

問 11 現在の社会は女性が働きやすい状況にあると思いますか。

	回答者数	割合
大変働きやすい状況にあると思う	5 人	3.6%
ある程度働きやすい状況にあると思う	63 人	45.3%
あまり働きやすい状況にあるとは思わない	36 人	25.9%
働きやすい状況にあるとは思わない	14 人	10.1%
一概にはいえない	10 人	7.2%
わからない	11 人	7.9%
無回答	0 人	0.0%
合計	139 人	100%

選択肢を選んだ理由（46人）

◎「大変働きやすい状況にあると思う」を選んだ方

- ・職場に溶け込んでいるため（20代以下男性）
- ・むかしとくらべたら（60代以上男性）
- ・差はない（30代男性）

◎「ある程度働きやすい状況にあると思う」を選んだ方

- ・実際に仕事をされている女性が多くいるように感じるため。（20代以下女性）
- ・働きにくい環境が思いつかなかったから（30代男性）
- ・女性も役職についたり、産休育休の制度が使いやすく、認められるようになってきている（40代女性）
- ・数年前に比べて働きやすい傾向にあると思う（30代男性）
- ・女性が働き続ける際の理解（子供や家族の休病、早退など）が進んだり、おたがいに、ゆうずうをしてくれたりする。（50代女性）
- ・ブルーカラーの仕事についている女性もちろほら見る受け入れる側の考え方も変わってきているのかなと思う（40代性別未記入）
- ・男性女性問わず仕事わりふられてるから。（20代以下女性）
- ・職種が豊富（60代以上男性）
- ・育休を取る人が多い（50代女性）
- ・学校や子供の通院に理解がある（40代女性）
- ・比較的、男性の多い職場だが、不満などない（40代女性）
- ・自分は働きやすいが、そうではない人もいると思うから。（30代女性）
- ・偏見や差別が無く性別関係なく、働きやすい（20代以下女性）
- ・仕事を選ぶのに時間等、考えてくれている。（60代以上女性）
- ・少しずつ周りの理解が進んでいる気はします。地域差もあるのですが、昔よりは働きやすくなっていると思います。（30代女性）
- ・産休制度がある（育休も）（50代女性）
- ・働きやすい仕事と、そうじゃあない仕事があると思う。（30代女性）
- ・育児休暇制度ができたこと。（60代以上男性）

- ・自分の職場が女性中心の職場で、先月から産休に入った人もいれば、来月から産休に入る人がいるもので。産後には仕事復帰予定なのだから、働きやすいと状況だと思います。(40代女性)
- ・働き方改革などで女性が働きやすく、育児などで欠勤せざるを得なくなる状況でも休めるようになってきたと思います。しかし、以前と変わらず育児をするのは女性という考えが男性陣に根強く残っていることが大きな足枷となっているように思います。(40代男性)
- ・2000 年を境に男女平等や機会均等、ジェンダー意識について、環境整備や理解醸成が加速しています。個人的には何ごととも短期間で一気に変えようとするのは、立場の違いから来る軋轢や誤解、そして不満を誘発するのが世の常と考えます。一例ですが、弱者側が「〇〇ハラスメント」と謳えば、半ば既成事実化してしまうため、社会的抹殺を恐れて萎縮してしまい、健全な関係を築けない組織もあると聞きます。ここ 10 年くらいは特にそう感じますが、報道機関や SNS の煽りをもろに受けた社会現象ですらあると感じます。一時の風潮とみる向きもありますが、正直行き過ぎの一面は否めません。しかしながら、様々なものの見方や見識を伴った判断により「あたりまえ」の枠の中で我慢を強いられてきた立場の人を救うことでは、一定の意義はあったと考えています。そういった意味で、今後は急激な変化の「撚り戻し」に注意しつつ、性別を適切に考慮した適材適所の環境づくりを一層進めるべきです(60代男性)

◎「あまり働きやすい状況にあるとは思わない」を選んだ方

- ・正職員の雇用が少ないように思う。いわゆる産休の期間が長く離職する機会が多いため(40代男性)
- ・当然、キャリアアップするには、妊娠、出産、子育ては負担になる。(60代以上女性)
- ・会社は主に男性。女性は補助、慣行が強い。(60代以上女性)
- ・子どものいる家庭の女性の負担が大きいと思う(50代男性)
- ・子どもが病気の時、女性が休まなくてはならないと思う(60代以上男性)
- ・なんとなく(50代男性)
- ・結婚・出産で育休や退職するのもどおりづらい(30代女性)
- ・男性も協力してくれるようになったとは言え、まだ主体的ではないと思うので母親の出番が多く仕事を休みがち。どの職場も人手不足で休まれると負担が大きく、休みにくい。年休が子どもの用事で減っている、余暇はない。(40代女性)
- ・社会全体が、まだまだおくられているようだ、(自分もふくめて)(60代以上男性)
- ・子どもができると仕事を休まなくてはならないので働きにくい。(40代女性)
- ・子供の呼び出しには母親が仕事を休んで行く流れがある。(30代女性)

◎「働きやすい状況にあるとは思わない」を選んだ方

- ・職業によると思う。一般的な会社員を考えた場合、出産育児休暇を終えて復帰して出産前と同じ仕事を続けることが難しい事が多い。キャリアをとるか、家庭をとるかという選択しかないのが現状。人によって求める働き方は様々あるはず。それが認められない場合が多いと思う。(40代女性)
- ・性別にかかわらず、働きやすい社会が実現されていない。(50代女性)
- ・子供がいると女性が休んで面どうを見る事が多い。仕事から帰ると家事をしなければいけない 疲れてしまい仕事を続けられなくなる(60代以上女性)
- ・急な休みをとりにくい(50代女性)

- ・働きたいと思っても、幼い子供がいると仕事の両立が難しく、そんな人材を雇ってくれる企業はそんなに多くない。(急な病気で休んだり、早退など。シフトも家事があるため。週2か3で働きたくても会社はフルタイムや週5勤務の人を要している)(40代女性)
- ・正社員として働く所が少ない。(60代女性)
- ・賃金差、待遇差、男性の意識など(40代女性)

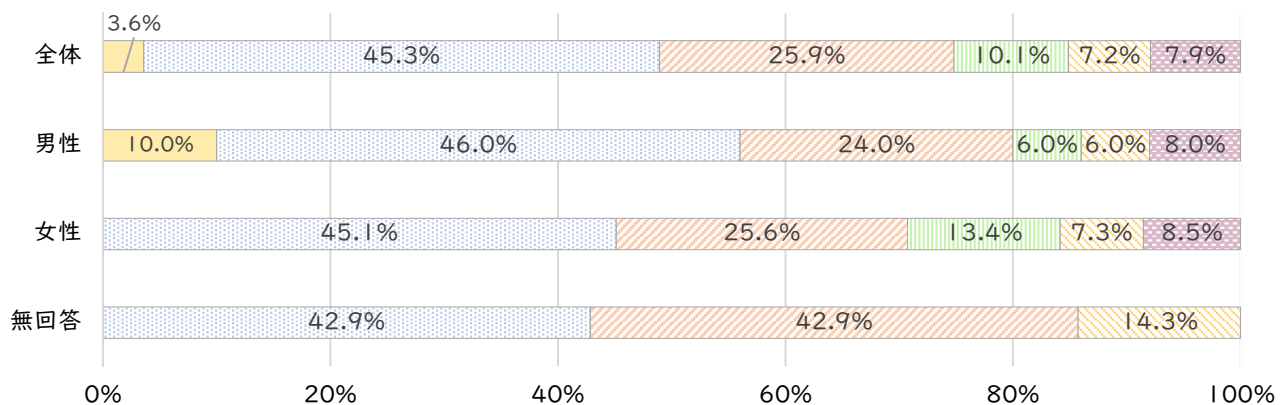
◎「一概にはいえない」を選んだ方

- ・その会社ごとに違うと思うから(30代女性)
- ・職種によると思う。職場の同僚との関係によると思う。(50代女性)
- ・子供の有無で大きく違う。会社の風土でも違うので。(40代女性)

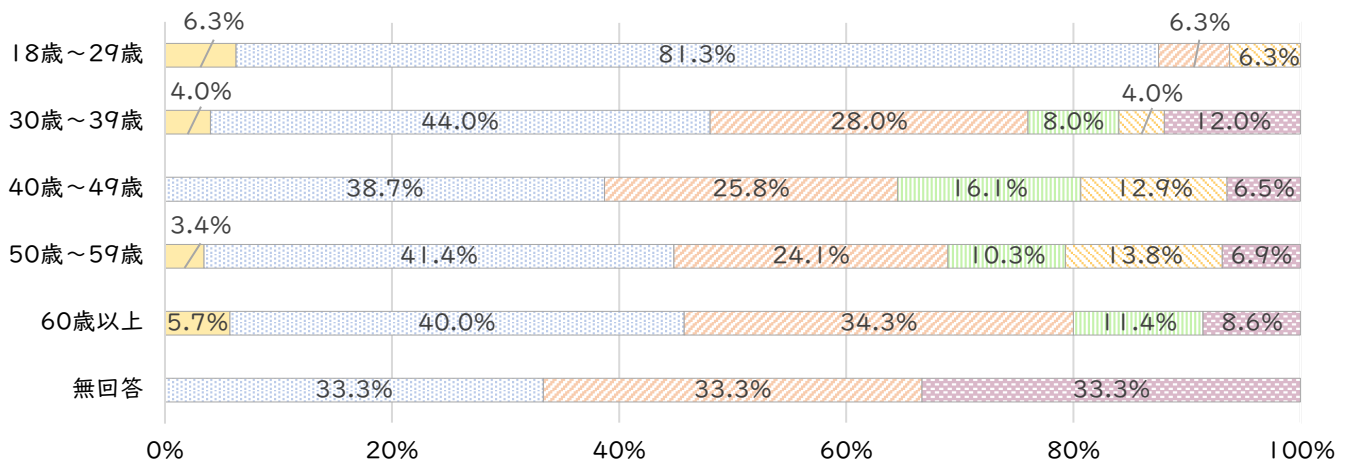
◎「わからない」を選んだ方

- ・昔に比べたら働きやすい状態だと思いますが、よくわからないのです(60代以上女性)

現在の社会は女性が働きやすい状況か（性別毎）



現在の社会は女性が働きやすい状況か（年代毎）



- 大変働きやすい状況にあると思う
- ある程度働きやすい状況にあると思う
- あまり働きやすい状況にあるとは思わない
- 働きの状況にあるとは思わない
- 一概にはいえない
- わからない
- 無回答

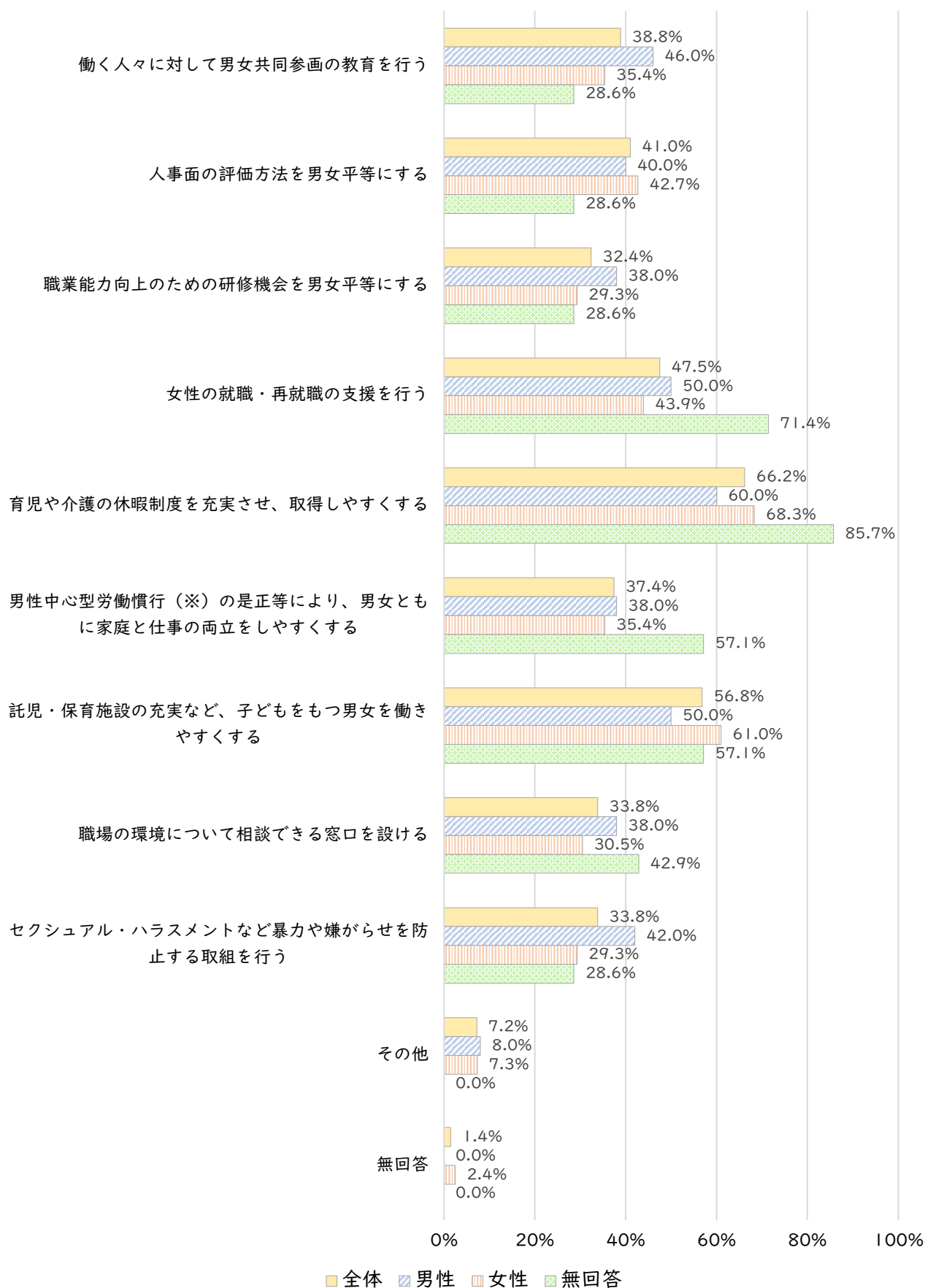
問12 男女共同参画社会を実現するためには、職場でどのような取組が必要だと思いますか。

(複数選択可)

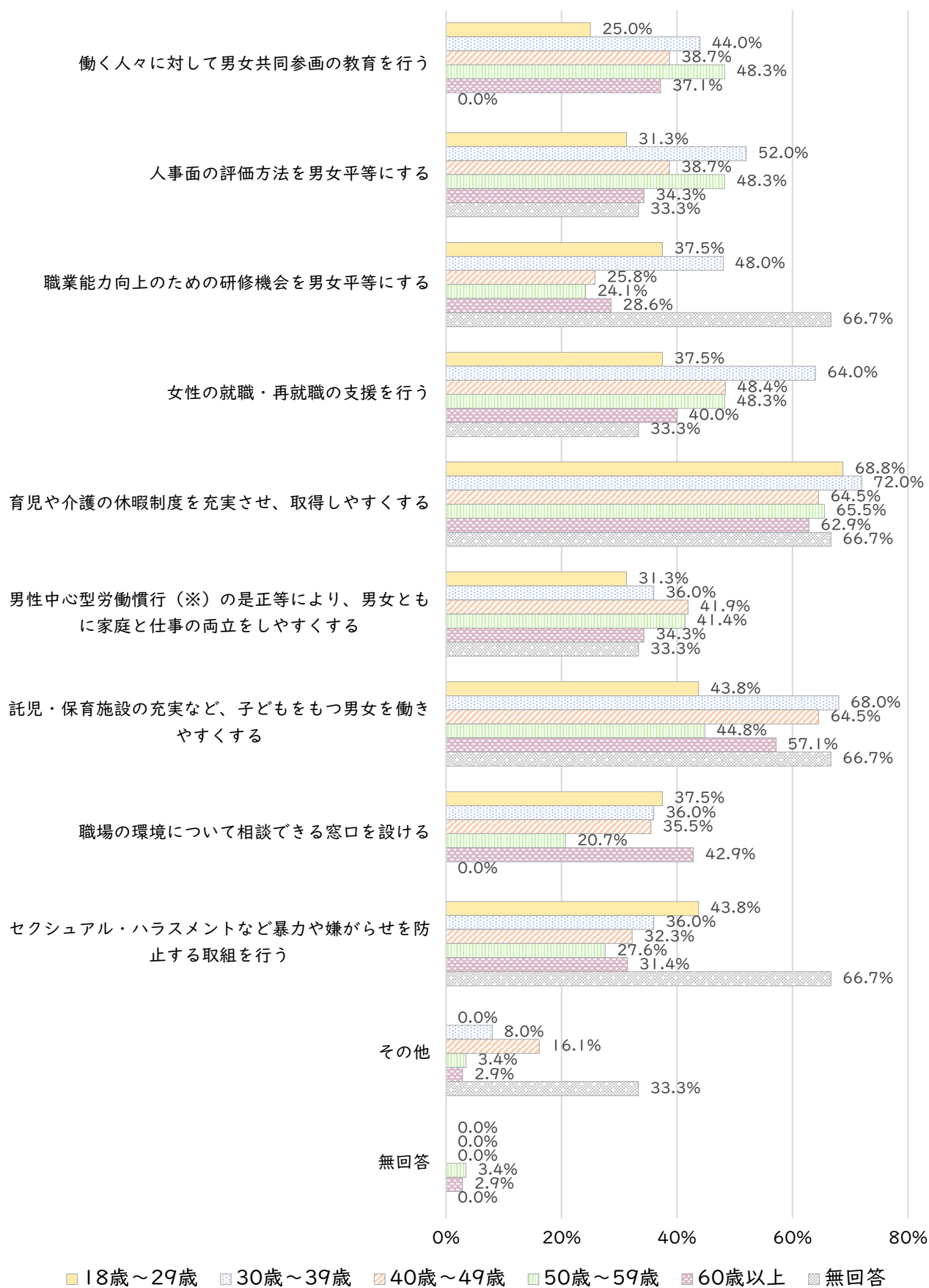
	回答者数	割合
働く人々に対して男女共同参画の教育を行う	54 人	38.8%
人事面の評価方法を男女平等にする	57 人	41.0%
職業能力向上のための研修機会を男女平等にする	45 人	32.4%
女性の就職・再就職の支援を行う	66 人	47.5%
育児や介護の休暇制度を充実させ、取得しやすくする	92 人	66.2%
男性中心型労働慣行(※)の是正等により、男女ともに家庭と仕事の両立をしやすくする	52 人	37.4%
託児・保育施設の充実など、子どもをもつ男女を働きやすくする	79 人	56.8%
職場の環境について相談できる窓口を設ける	47 人	33.8%
セクシュアル・ハラスメントなど暴力や嫌がらせを防止する取組を行う	47 人	33.8%
その他	10 人	7.2%
無回答	2 人	1.4%
「その他」を選んだ方の自由記入欄(10人) ・平等ではなく公平に。男性が求めるものと女性が求めるものは違うはず。女性の中でも個々によって違うはず。その人が求めるものを提供出来るシステムが必要。(40代女性) ・男女の平等を目指すより、離職した女性が活躍できる場を増やすほうが現実的でお互いが尊重されるように思う(40代男性) ・わからない(年代未記入女性) ・全てを平等にするのはむずかしい、バランスなんだと思う(40代男性) ・休む時に代替が入るシステム。(40代女性) ・男性の育休はほとんどがただの休みになりがちだと思っています。子育てに参加させるための教育が必要だと思います。(30代女性) ・職場経験が少ないのでわかりません。(60代以上女性) ・育児や介護休暇を取得した人の代替職員を雇用する。(50代女性) ・女性が”女性だから”を盾にしない(30代男性) ・女性の生理休暇、妊娠中の悪阻など体調不良時の休職のしやすさなどの環境を整える。就業規則などで生理休暇などの制度が整っていたとしても女性自身が申請しにくい雰囲気になっていることを考慮していく方が良い。(40代男性)		

※男性中心型労働慣行…勤続年数を重視しがちな年功的な処遇の下、長時間勤務や転勤を当然とする男性中心の働き方等を前提とした労働慣行のこと。

男女共同参画社会を実現するために職場で必要だと思う取組 (性別毎)



男女共同参画社会を実現するために職場で必要だと思う取組 (年代毎)

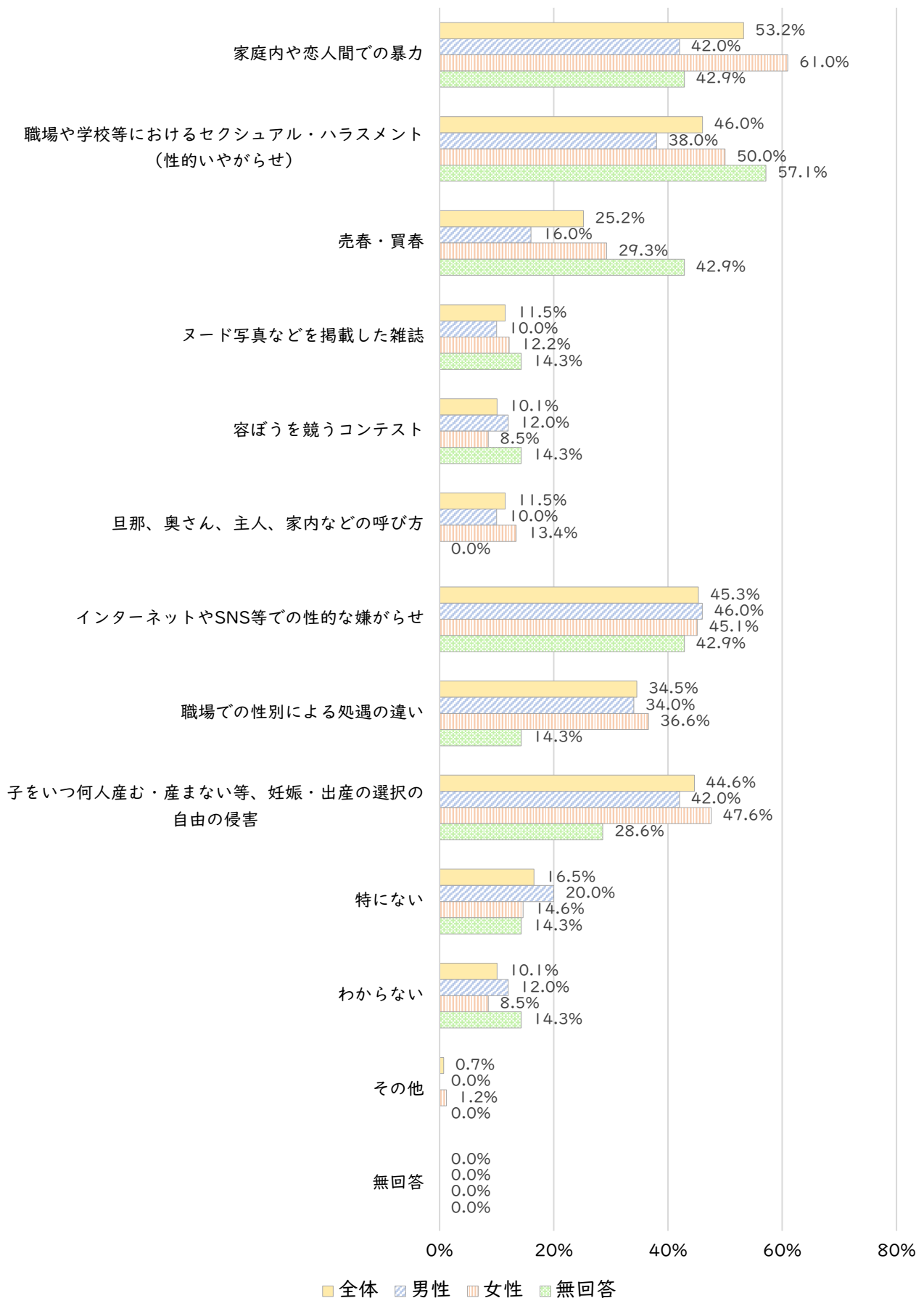


《男女の人権・DVについて》

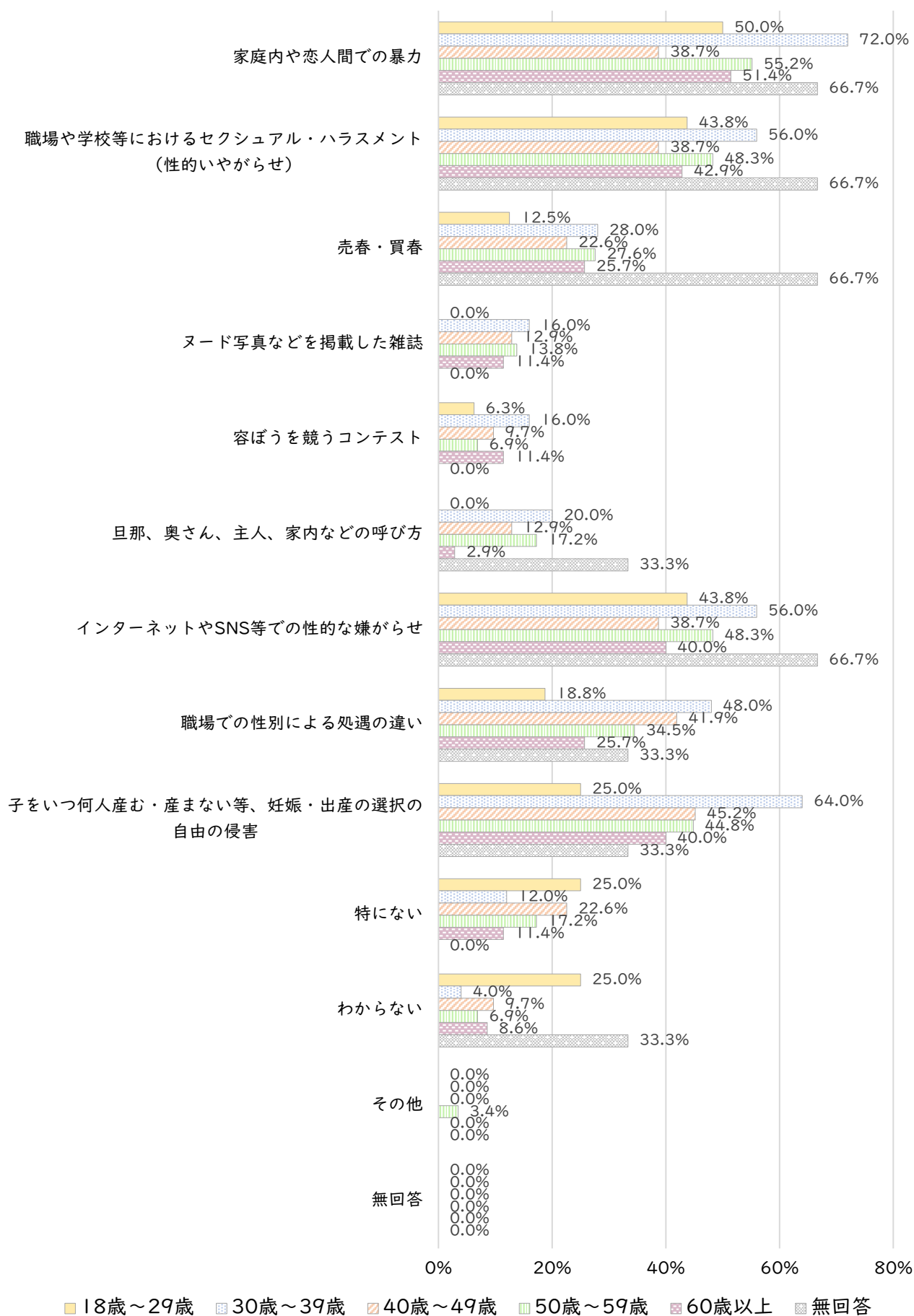
問13 「人権が侵害されている」と感じるのは、どのようなことについてですか。(複数選択可)

	回答者数	割合
家庭内や恋人間での暴力	74 人	53.2%
職場や学校等におけるセクシュアル・ハラスメント(性的いやがらせ)	64 人	46.0%
売春・買春	35 人	25.2%
ヌード写真などを掲載した雑誌	16 人	11.5%
容ぼうを競うコンテスト	14 人	10.1%
旦那、奥さん、主人、家内などの呼び方	16 人	11.5%
インターネットや SNS 等での性的な嫌がらせ	63 人	45.3%
職場での性別による処遇の違い	48 人	34.5%
子をいつ何人産む・産まない等、妊娠・出産の選択の自由の侵害	62 人	44.6%
特にない	23 人	16.5%
わからない	14 人	10.1%
その他	1 人	0.7%
無回答	0 人	0.0%
「その他」を選んだ方の自由記入欄(1人) ・学校等におけるいじめ問題。学校が加害者を守り、被害者側の学校教育を受ける権利・人権が守られていないのは社会的問題です。平等に子供を守れるように教育機関や地域でも真剣に取り組むべき問題だと思う。(50代女性)		

「人権が侵害されている」と感じること（性別毎）



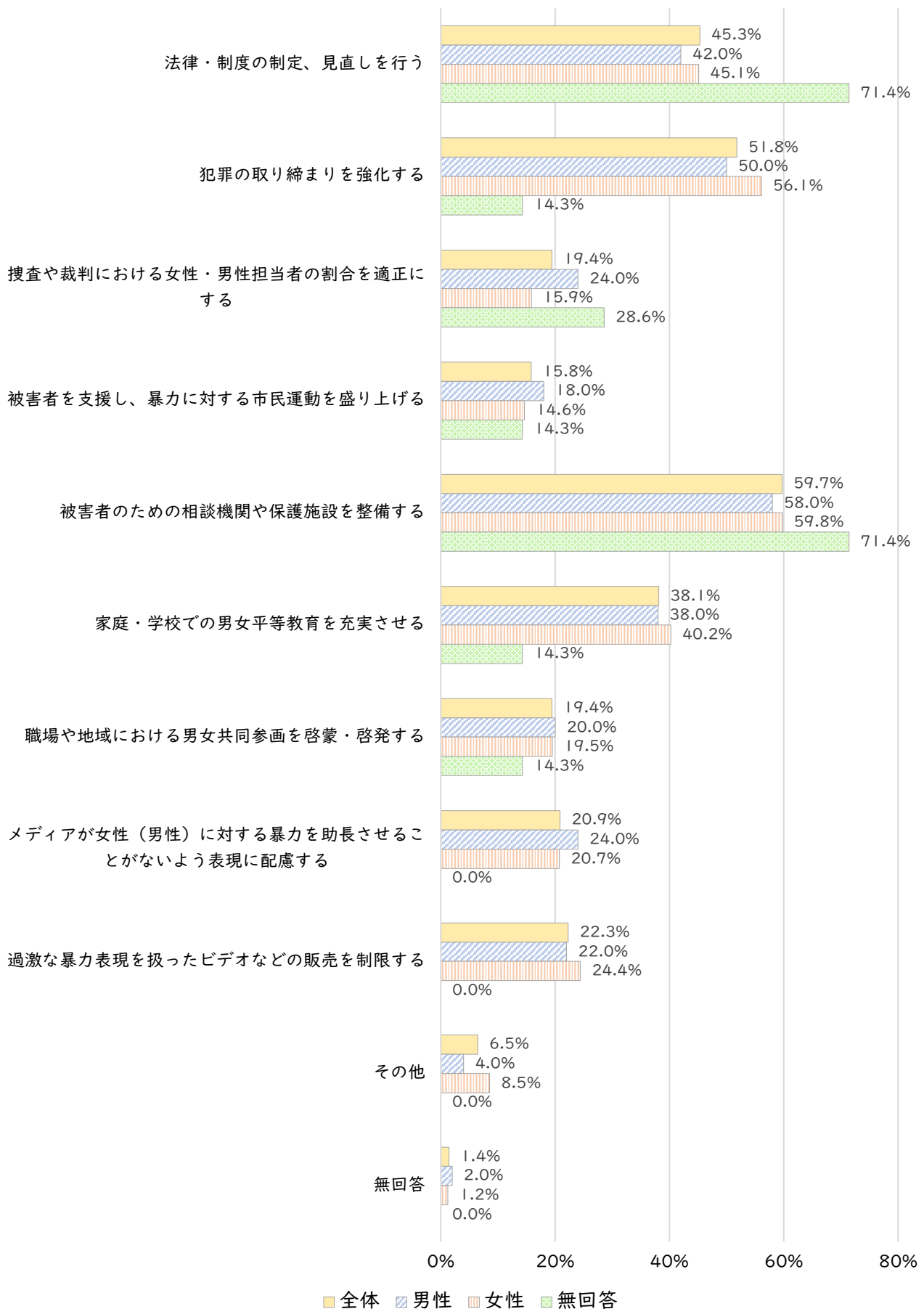
「人権が侵害されている」と感じること（年代毎）



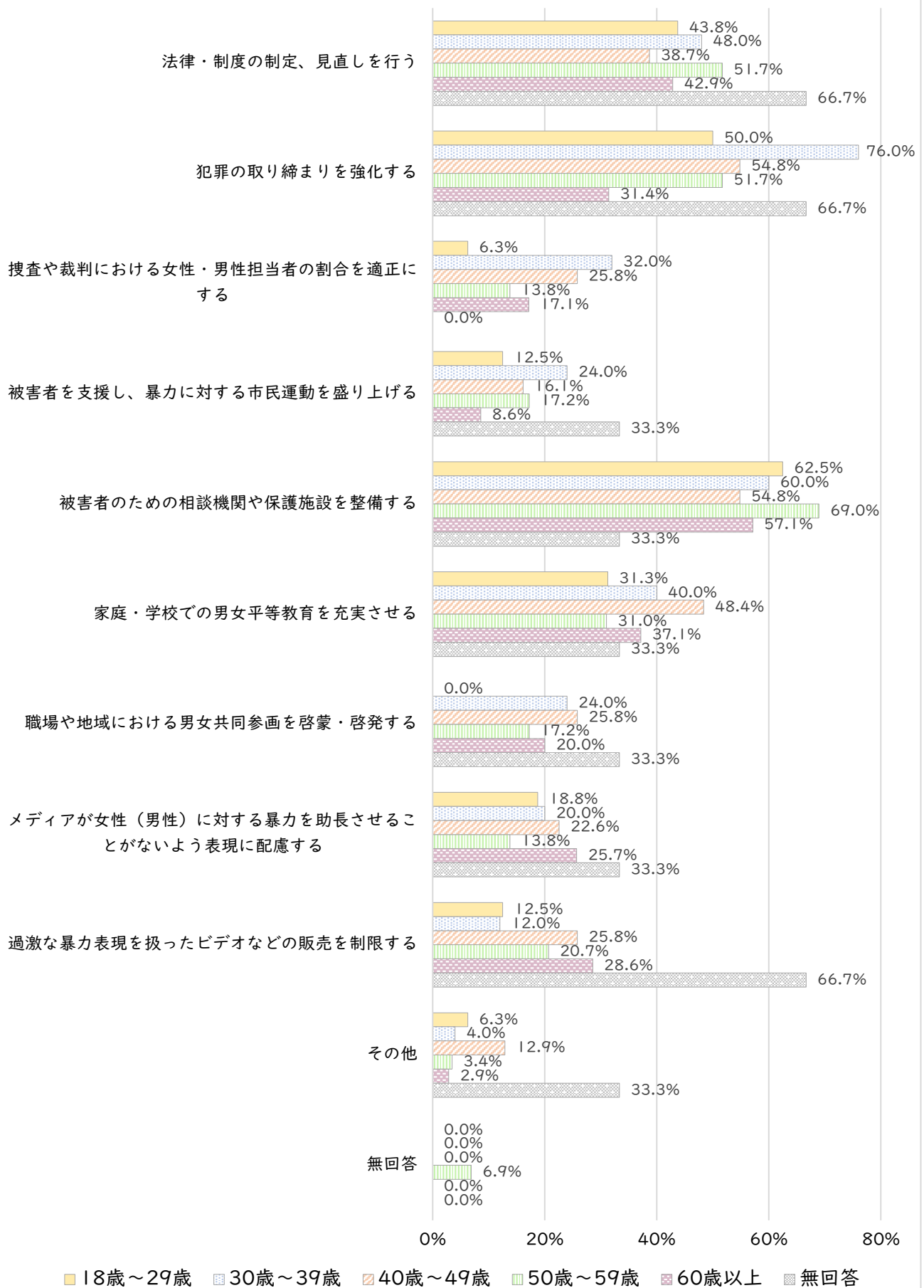
問14 女性又は男性に対する暴力（ドメスティック・バイオレンス）をなくすためには、どのようにしたらよいと思いますか。（複数選択可）

	回答者数	割合
法律・制度の制定、見直しを行う	63 人	45.3%
犯罪の取り締まりを強化する	72 人	51.8%
捜査や裁判における女性・男性担当者の割合を適正にする	27 人	19.4%
被害者を支援し、暴力に対する市民運動を盛り上げる	22 人	15.8%
被害者のための相談機関や保護施設を整備する	83 人	59.7%
家庭・学校での男女平等教育を充実させる	53 人	38.1%
職場や地域における男女共同参画を啓蒙・啓発する	27 人	19.4%
メディアが女性（男性）に対する暴力を助長させることがないように表現に配慮する	29 人	20.9%
過激な暴力表現を扱ったビデオなどの販売を制限する	31 人	22.3%
その他	9 人	6.5%
無回答	2 人	1.4%
「その他」を選んだ方の自由記入欄（9人） ・わからない（年代未記入女性） ・過去と現在のDVによるニュースを大きく見せる。（20代以下男性） ・刑罪を厳しくする（40代女性） ・加害者の教育（50代女性） ・そもそも警察が対応せずに大きな事件になっているから無理！（40代男性） ・育てられ方（60代以上女性） ・性差によるものではなく倫理観（暴力は絶対ダメ）の問題では…（40代女性） ・上記の選択で、加害者の意識の変化がおこるとは思えません。被害者の保護は必要ですが、加害者は自分が暴力をふるっている意識はないので、再犯率が高そうです。（30代女性） ・暴力は男女平等ではなく、人権の問題？犯罪？（40代女性）		

暴力をなくすために必要だと思う取組（性別毎）



暴力をなくすために必要だと思う取組（年代毎）

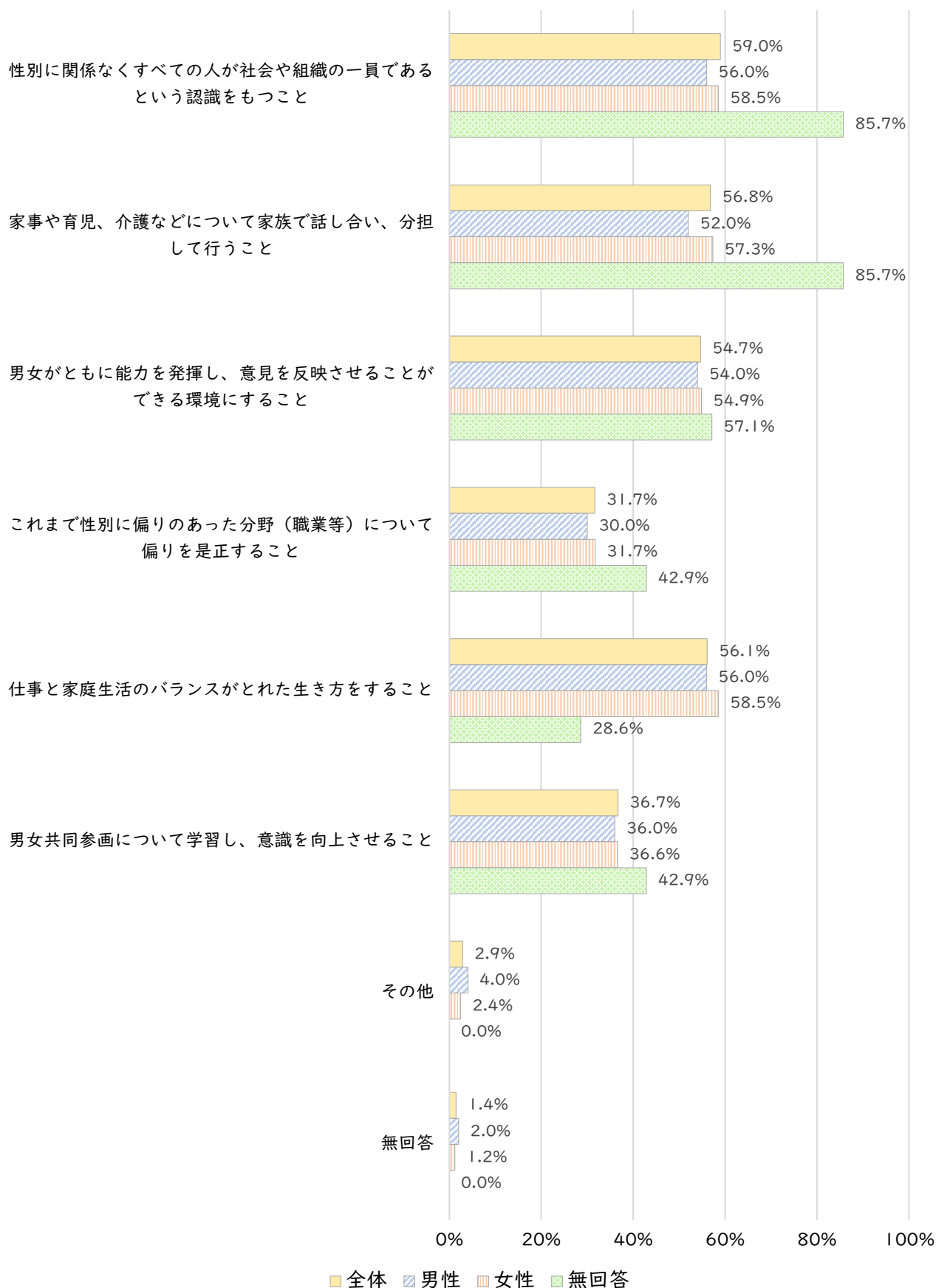


《男女共同参画社会実現に向けて》

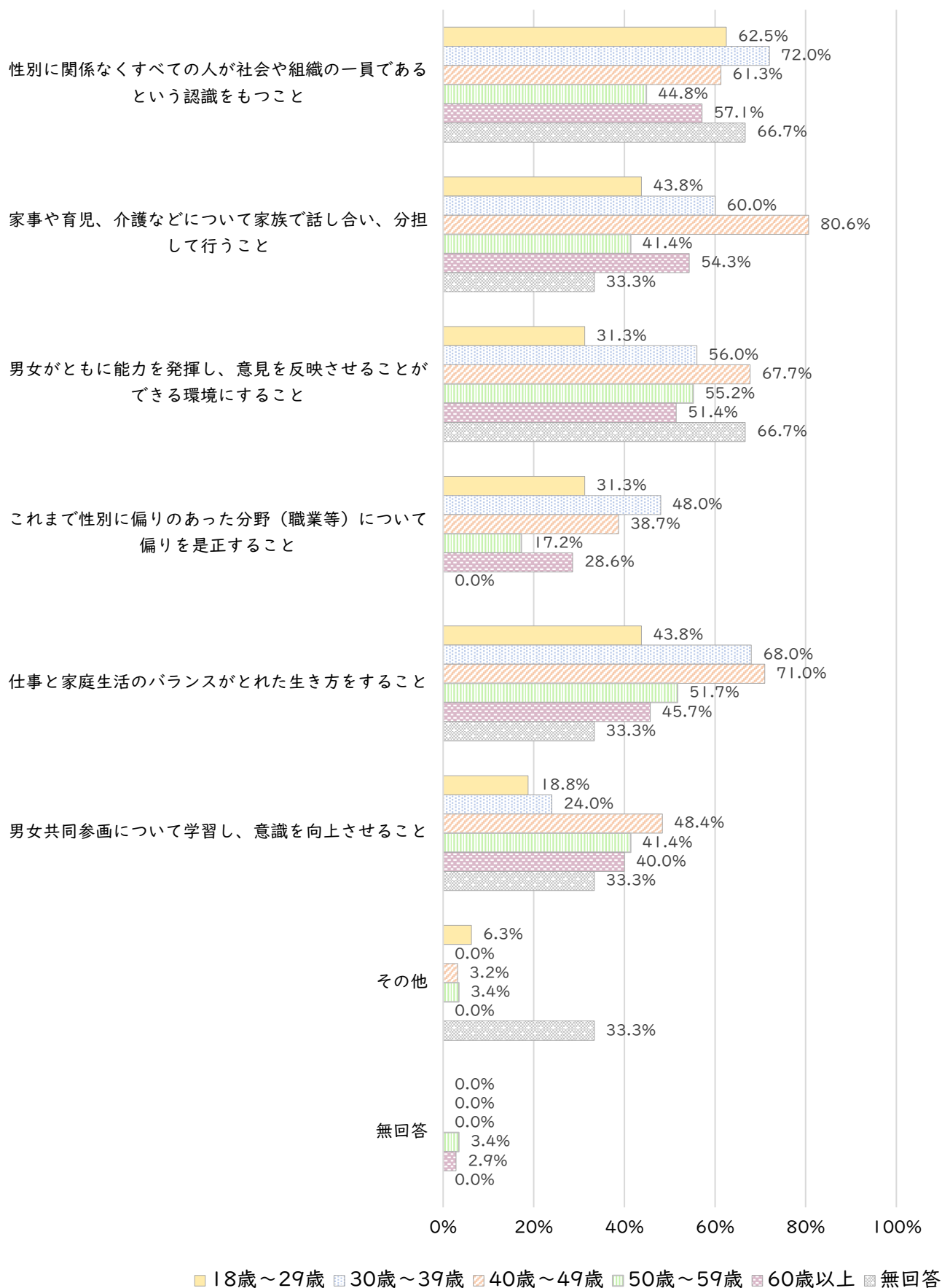
問15 家庭、職場、学校、地域、政治の場などのあらゆる分野で男女共同参画社会を実現するために、どのようにすることが必要だと思いますか。(複数選択可)

	回答者数	割合
性別に関係なくすべての人が社会や組織の一員であるという認識をもつこと	82 人	59.0%
家事や育児、介護などについて家族で話し合い、分担して行うこと	79 人	56.8%
男女がともに能力を発揮し、意見を反映させることができる環境にすること	76 人	54.7%
これまで性別に偏りのあった分野(職業等)について偏りを是正すること	44 人	31.7%
仕事と家庭生活のバランスがとれた生き方をすること	78 人	56.1%
男女共同参画について学習し、意識を向上させること	51 人	36.7%
その他	4 人	2.9%
無回答	2 人	1.4%
「その他」を選んだ方の自由記入欄(3人) ・わからない(年代未記入女性) ・犯罪を犯し、逮捕された後どのような、生活や生きにくさがあるかをおしえる。(20代以下男性) ・本人よりわからない旨返答あり(50代女性)		

男女共同参画社会を実現するために必要だと思う取組 (性別毎)



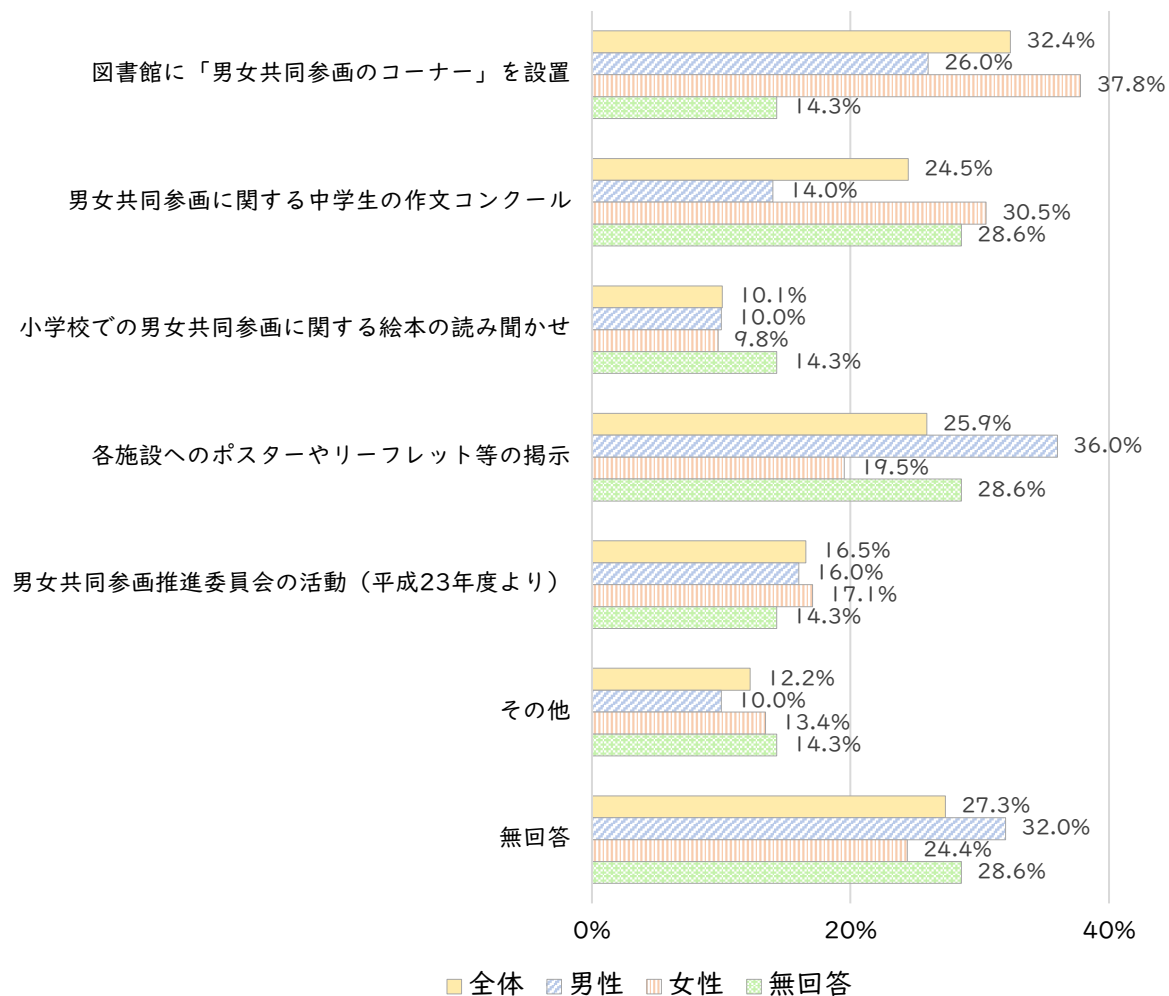
男女共同参画社会を実現するために必要だと思う取組 (年代毎)



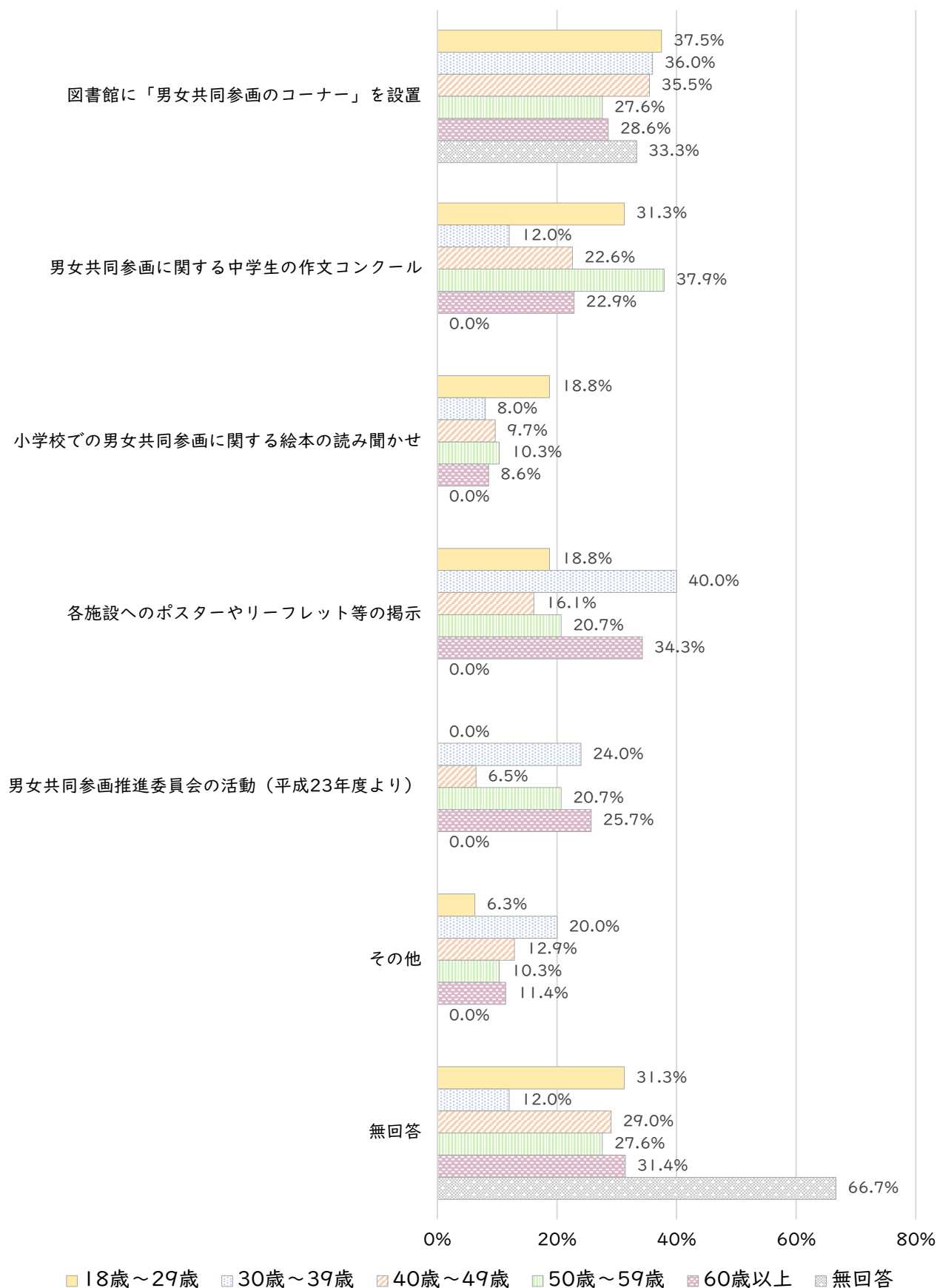
問16 中札内村が現在行っている次の取組のうち、知っているものや聞いたことがあるものを選んでください。(複数選択可)

	回答者数	割合
図書館に「男女共同参画のコーナー」を設置	45 人	32.4%
男女共同参画に関する中学生の作文コンクール	34 人	24.5%
小学校での男女共同参画に関する絵本の読み聞かせ	14 人	10.1%
各施設へのポスターやリーフレット等の掲示	36 人	25.9%
男女共同参画推進委員会の活動(平成 23 年度より)	23 人	16.5%
その他	17 人	12.2%
無回答	38 人	27.3%
「その他」を選んだ方の自由記入欄(15人) ・知らない、わからない ※すべて同様の意見のため以下省略		

村の取組で知っているものや聞いたことがあるもの (性別毎)



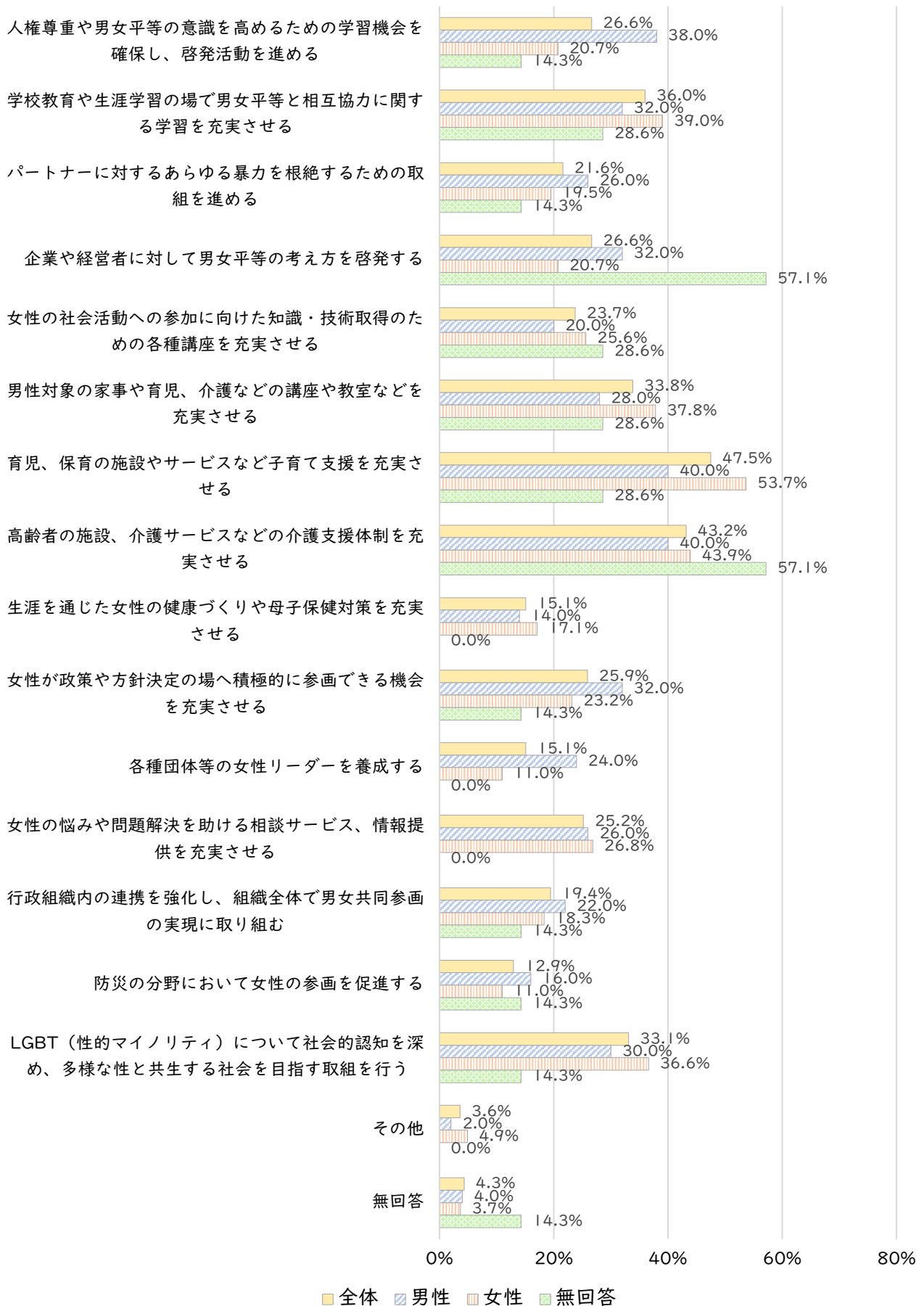
村の取組で知っているものや聞いたことがあるもの (年代毎)



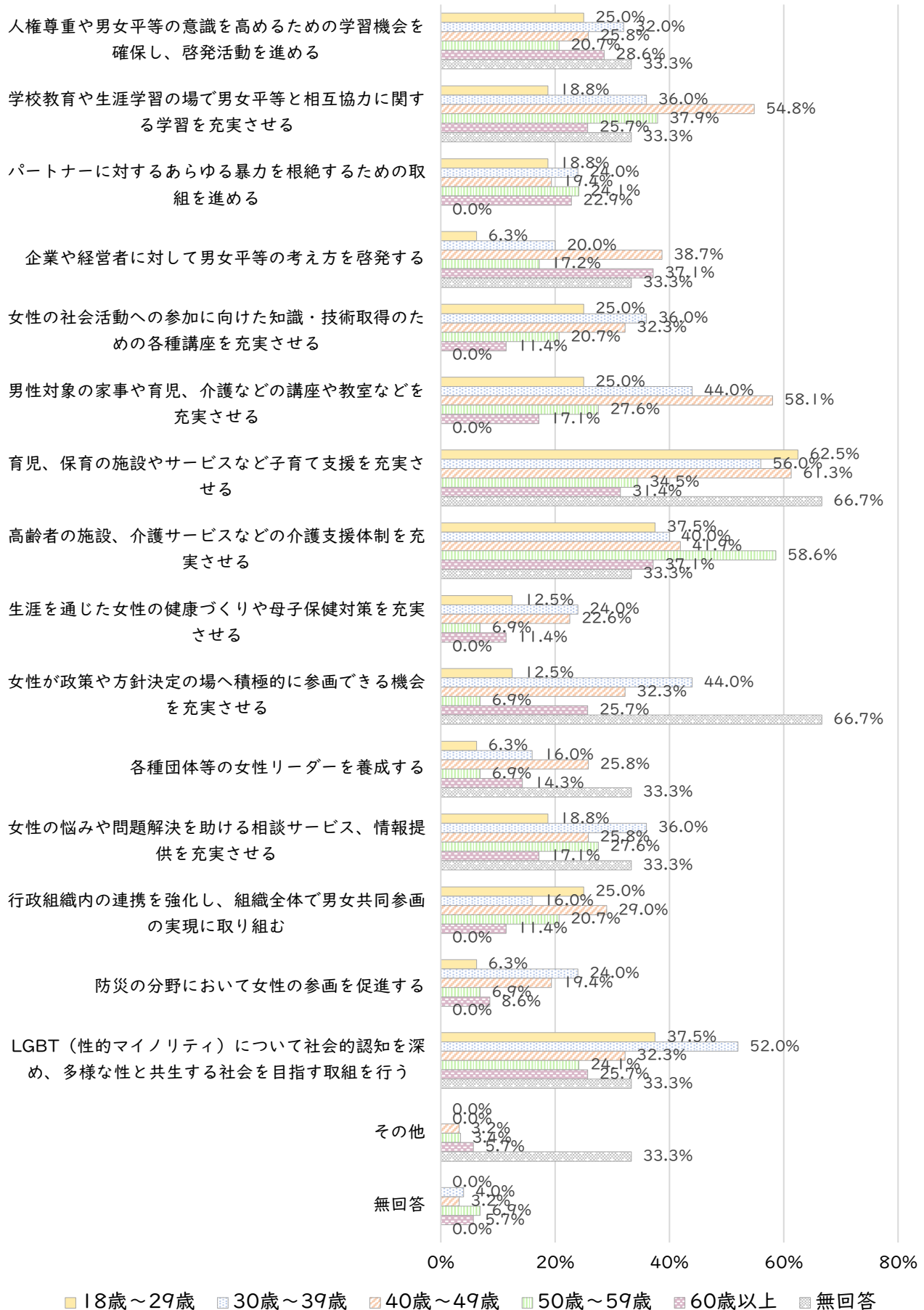
問17 中札内村で男女共同参画を進めるために、村にどのようなことを望みますか。(複数選択可)

	回答者数	割合
人権尊重や男女平等の意識を高めるための学習機会を確保し、啓発活動を進める	37 人	26.6%
学校教育や生涯学習の場で男女平等と相互協力に関する学習を充実させる	50 人	36.0%
パートナーに対するあらゆる暴力を根絶するための取組を進める	30 人	21.6%
企業や経営者に対して男女平等の考え方を啓発する	37 人	26.6%
女性の社会活動への参加に向けた知識・技術取得のための各種講座を充実させる	33 人	23.7%
男性対象の家事や育児、介護などの講座や教室などを充実させる	47 人	33.8%
育児、保育の施設やサービスなど子育て支援を充実させる	66 人	47.5%
高齢者の施設、介護サービスなどの介護支援体制を充実させる	60 人	43.2%
生涯を通じた女性の健康づくりや母子保健対策を充実させる	21 人	15.1%
女性が政策や方針決定の場へ積極的に参画できる機会を充実させる	36 人	25.9%
各種団体等の女性リーダーを養成する	21 人	15.1%
女性の悩みや問題解決を助ける相談サービス、情報提供を充実させる	35 人	25.2%
行政組織内の連携を強化し、組織全体で男女共同参画の実現に取り組む	27 人	19.4%
防災の分野において女性の参画を促進する	18 人	12.9%
LGBT(性的マイノリティ)について社会的認知を深め、多様な性と共生する社会を目指す取組を行う	46 人	33.1%
その他	5 人	3.6%
無回答	6 人	4.3%
「その他」を選んだ方の自由記入欄(3人) ・わからない(年代未記入女性) ・平等でなく公平という考え方(40代女性) ・特に無し(60代以上男性)		

男女共同参画を進めるために望むこと（性別毎）



男女共同参画を進めるために望むこと（年代毎）



問 18 男女共同参画に関することについてのお考えやご意見を、自由にご記入ください

- ・小学校低学年くらいの子供は男女不平等とは思っていないと思う。

視野が広がっていくにつれて、見るもの、経験するものの中で、「男だから」とか、「女なのに」などの言葉を耳にして、刷り込まれていくものかと。

子供に対する教育より大人、特に 40 代以上の人の方が勉強が必要ではいでしょうか。

勉強しても考えが変わって、行動が変わらなければ意味はないのですが。

男女平等ということが何を指しているのか解りませんが、男女が同じ事をするということではなく、性別関係無く、個人が得意な事を活かし仕事にして生き生きと生活出来る社会が理想です。(40代女性)

- ・なし(30代女性)

- ・一般的な男女共同参画の趣旨には賛成であるが、家庭それぞれの事情の影響の方が大きいと思う
適材適所という言葉があるように、同じ性別でも性格で向き不向きがあるように、男性女性の性別でも向き不向きがあると思う

すべてを共同参画の対象にするのは難しいと思うのですが、共同参画の考え方が当然ということの延長で、ごく自然に分担されると社会がよく回るのではないのでしょうか(40代男性)

- ・女性が働きやすい環境づくり、男女平等という取り組みには大いに賛成していますが、現状色々な企業で女性社員を管理職へという意識が強すぎるせいか、能力に見合っていない人事評価がされているのかな?と思うことがあります。

このご時世 SNS が発達したこともあり企業は体裁を気にしてなのか女性社員を登用をという傾向があるような気がします。

あくまでも「男女平等」というのは保っていただきたいものです。(30代男性)

- ・男女の共同参画の取組みはかなり浸透してきていると思います。⑮(問17の項目⑮、LGBT(性的マイノリティ)のことか)の方々とは日常ほぼ接した事も合ったこともない人がほとんどだと思います。お話を聞く機会や何かならい事の教室の先生でもいいので接点があると理解ができて苦手意識が薄れると思う。(50代女性)

- ・すでにおこっているとは思いますが平等と叫ぶ人の意見を全て受け入れると優遇になってしまいます。一部では女性優先社会になりかねません。(40代性別未記入)

- ・身近に差別を意識する事例はないが、それぞれが”得意”な分野もあると思う。残えば体力や力仕事はやはり男性が長けていると思うし、色を見分ける色彩能力は女性が長けている。これはそれぞれの性があった特異だと思うので、一該に男女平等にできない部分もありそればかり意識すると活やくの場が縮小していくような気がする。そこはバランスよくそれぞれの性が「得意なこともある」と認めていく発想も

取り入れてもらいたいと思う。

公平○ 平等× (40代女性)

・全てを平等に…はあまりだけどバランスはとったほうが良いと思う(40代男性)

・働きたくても短時間勤務(週数も少なくても)でもOKな雇用口が少ないので、働くか働かないかの二択になってしまうので、潜在的に働きたい人もいるという事も社会で理解されるとより働ける人が増えると思う。又、まだまだ子育てに母親への比重が多いのが現状である。どちらが稼いでいるかで、家事育児の参加度合が異なるのは、後々の家族関係に影響する。少しでも小さな気づかい心づかいだけで、モチベーションが変わる。(40代女性)

・平等は理想ですが、そうはいかないこともあり(妊娠・出産)、当事者(女性)にしかわからない、できないこともあると思っています。また支援面は何事も小学生くらいまでで、中学生になったとたん「さあ働けるでしょ」的な役割分担も負担です。男女共に更年期障害もありますし、男性、女性ではなく、全ての人が生きやすい社会になればと思います。お互いのこと、子どものこと、を話をする余裕、余暇があれば、男女が支えあって生きていけるのでは…と思います。(40代女性)

・すべてにおいて必要だと思います(自分もふくめて)やはりまだまだだと思います。これからの取り組みにきたいします。(60代以上男性)

・行政としては、もっと他にやることあるのでは。つまらない事で時間を使うより、道路パトロールして穴を直してほしい。(60代以上男性)

・私が以前、勤務していた民間会社の話です。産休、育休を取得する職員がいても、代替職員や補充職員は来ませんでした。そのため、休んだ人の分まで残された人材で業務をこなすので多忙をきわめました。自分の休日にも仕事をしたり、残業もするのにも特別手当でもありません。育休が明けて職場復帰されても、お子さんの体調不良で、突然に休むことも多々あり、そのたびにしわよせが同僚に重くのしかかります。上司は「あなたは子供いないから残業したっていいよね」と言い出す始末…。「いつ休むかわからない、復帰しても残業もできない」という状況の人と一緒に働くのはつらかったです。女性が働きつづけるために「休暇をとることができる」だけでは足りません。同僚に不公平感、不満を持たせない対策が必要だと思います。出産、子育て中、介護をしている人が「家庭と仕事の両立」は理想ですが、現状は、同僚を「踏み台」にして、働いていると思います。そんなことでは職場の同僚とうまういなくなり女性が働きつづけることは難しくなります。①休暇を取得する職員がいたら代替職員を雇用する。②サポートしている同僚に特別手当での支給が必要だと思います。公務員はともかく民間会社は現実的ではないかもしれませんが……。 (50代女性)

- ・女性の”私たちは被害者です”という声が好きではない。障壁を作っているのはご自身。(30代男性)
- ・もっと、もっと男女平等が(多様性)進んで、国民みんなが生活しやすい環境が出来ればいいと思う。(30代女性)
- ・男女共同参画とDV が一緒に考えられるものじゃないと思う。
女性を引っ張り出す前に、男性の意識の改革を!!
特に中札内村は男性優位が強いと思う。
議員の男女比を決めるとか。(40代女性)
- ・個人を尊重しつつ共同して安心して社会生活を営めることが重要かと思います。男女問わず。(40代女性)
- ・毎年中学1年生に作文を書かせていますが、それはなぜですか?
中1と限らなくていいのでは?と思います。(40代女性)
- ・そろそろ「男女共同参画」「男女平等」というネーミングを変えてはどうか?
男女…と使っている時点でどちらかへの差別があるように感じる。
性別、立場にとらわれず、意欲のある人、役割を担える人が力を発揮できる社会になるといいと思う。
(50代女性)
- ・「言葉狩り」の無い純粋な議論を進めて住みよい村を作りましょう(60歳以上男性)